

取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。なお、この取扱説明書は、保証書と一緒に必ず保管してください。
接続と取り付けは、別冊の取付説明書をご覧ください。

carrozeria
by **PIONEER**

DEX-P1



安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

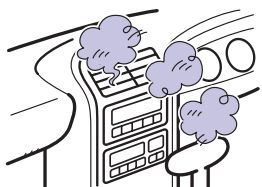
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

各部のなまえ	6
メインコントローラーを使う	7
フロントパネルの使いかた	8
本機の操作の概要	10

ここだけ読めばすぐ使えます

聞きたいサウンドソースを選ぶ	12
CDのふだんの操作	14
CDをセットする	
曲を選ぶ	
早送り/早戻しをする	
CDを取り出す	
ラジオのふだんの操作	16
バンドを選ぶ	
放送局を選ぶ	
マルチCDのふだんの操作	18
ディスクを選ぶ	
曲を選ぶ	
早送り/早戻しをする	

内蔵CDでCDを聞く

CD TEXTのタイトルを表示する	20
モードの切り換えかた	22
同じ曲を繰り返し聞く	24
いつもと違う曲順で聞く	25
聞きたい曲をさがす	26
CD再生を一時停止する	27
CDの音質を調整する	28
CDのタイトルを記憶させる	30

ラジオを聞く

複数の放送局を自動的に記憶させる	32
放送局を1局ずつ記憶させる	33
記憶させた放送局を呼び出す	34
モードの切り換えかた	35
放送局名を記憶させる	36
2つのアンテナでFM放送を受信する	38

マルチCDでCDを聞く (マルチCD接続時のみ)

聞きたいCDを直接選ぶ(6/12枚)	40
おおまかに選んでから聞きたいCDを選ぶ(50枚)	41
モードの切り換えかた	42
同じ曲やCDを繰り返し聞く	44
いつもと違う曲順で聞く	45
CD再生を一時停止する	46
聞きたい曲やCDをさがす	47
聞きたい曲だけ記憶させておく	48
記憶させた曲だけ再生する	49
記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す	50
記憶させた曲をCDごとに記憶から消す	51
CDをグループ分けする(50枚)	52
グループ別で再生する(50枚)	54
CDをグループから消す(50枚)	55
演奏頻度でCDを再生する(50枚)	56
タイトルを見て聞きたいCDをさがす	57
タイトルの頭文字でCDをさがす(50枚)	58
タイトルとグループの表示を切り換える	59
選んだCDを取り出す(50枚)	60

C O N T E N T S

すぐ使えます
ここだけ読めば

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

音場と音質を調節する

DSPを使おう	62
動作モードの切り換え	63
モードの切り換えかた	64
音場の中心で聞く	66
遅延時間を調整する(プロモード)	68
ネットワークを調整する前に	70
ネットワークを調整する	72
サブウーファー出力の切り換え(プロモード)	76
イコライザーカーブを呼び出す	77
イコライザーカーブを作成する	78
イコライザーカーブを大まかに補正する	79
イコライザーカーブを記憶させる	80
音量バランスを調節する	81
小音量時の音にメリハリをつける	82
各ソースの音量の違いをそろえる	83

その他の機能と付録

よく使う機能を学習させる	84
交通情報を受信する	86
瞬時に音量を小さくする	87
ディスプレイを見やすくする	88
スピーカ・ソース表示の切り換え	89
初期設定モードの切り換えかた	90
時計を合わせる・表示させる	91
外部機器の音声を聞く	92
テレビのときにオートアンテナをのばす	93
夜間のディスプレイの明るさを切り換える	94
音の歪みを補正する	95
エンターテインメント表示をさせる	96
本機を初期状態に戻す	97
CDの正しい使いかた	98
こんなメッセージが表示されたら	99
故障かな?と思ったら	100
保証書とアフターサービス	101
おもな仕様	102

はじめに

内蔵CDでCDを聞く

ラジオを聞く

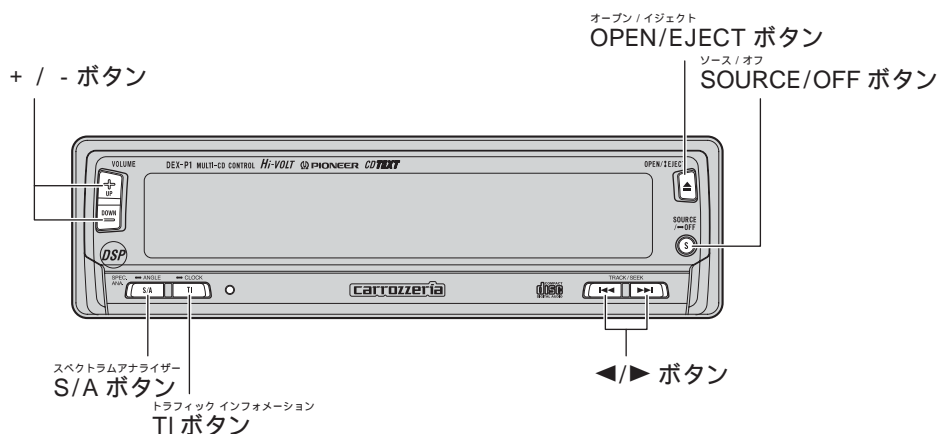
マルチCDでCDを聞く

音場と音質を調節する

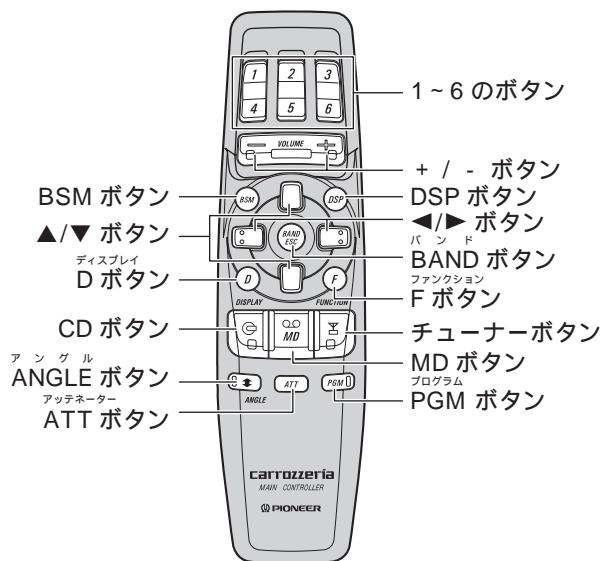
その他の機能と付録

各部のなまえ

本体



メインコントローラー

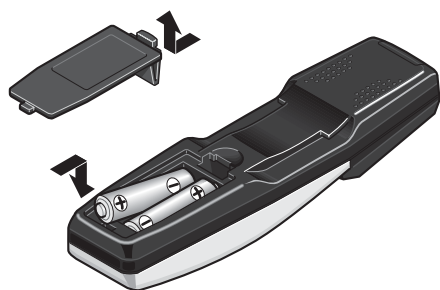


メインコントローラーを使う

メインコントローラーで本機を操作することができます。

メインコントローラーに電池を入れる

裏ボタンを開けて、単4形乾電池 (R03) 2本をセットします。



メインコントローラーの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

メインコントローラー取り扱い上のご注意

メインコントローラーを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

本機に直射日光が当たっていると、メインコントローラーの操作ができない場合があります。このようなときは、本機にメインコントローラーを近づけて操作してください。

乾電池は充電できません。

メインコントローラーを長い間使わないときは、電池を取り出してください。

電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

メモ

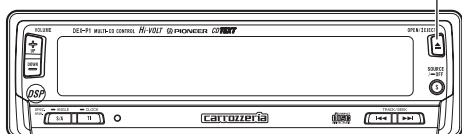
メインコントローラーの取り付け位置によっては、フロントパネルの角度調節を行うと、メインコントローラーでの操作が効かないことがあります。このようなときは、メインコントローラーを本機に近づけて操作してください。

フロントパネルの使いかた

盗難抑制のため、フロントパネルを取り外すことができます。

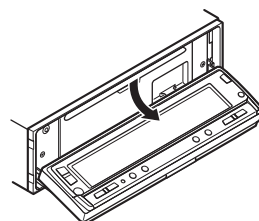
フロントパネルの取り外し / 取り付けのしかた

OPEN/EJECT ボタン



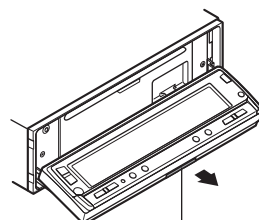
1 フロントパネルを開ける

OPEN/EJECTボタンを押す



2 フロントパネルを取り外す

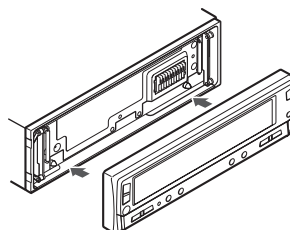
リリース部をつまみながら、フロントパネルを手前に引く



リリース部

3 フロントパネルを取り付ける

フロントパネルを本体に平行に持ち、“カチッ”と音がするまで、まっすぐに押し込む



メモ

フロントパネルの角度を調節して使用している場合、イグニッションスイッチのON/OFFの数秒後に自動でフロントパネルが動きます。このとき手、指を挟まれる恐れがありますので、フロントパネルに手、指を近づけないでください。また、フロントパネルの開閉中も同様に手・指を近づけないでください。

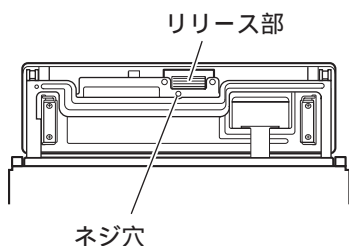
フロントパネルの固定のしかた

フロントパネルの固定ネジについて

本機には、フロントパネルを固定するネジが付属されています。フロントパネルを取り外す必要のない方は、ネジで固定してからお使いください。

ネジを 取り付ける

フロントパネルを開け、フロントパネルと内ブタをネジで固定する



⚠ 注意

フロントパネルを開けたままで使用しない

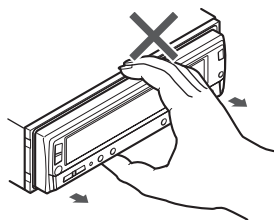


禁止

フロントパネルを開けたままでは使用しないでください。万一、事故が起きた場合、開けたままのフロントパネルに当たるとケガの原因となります。

フロントパネルの取り扱いについて

フロントパネルを無理に引いて取り外さないでください。



取り外し、取り付けの際にボタンやディスプレイを強く持たないでください。

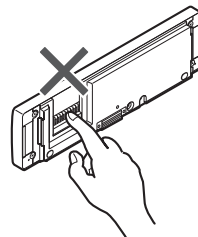
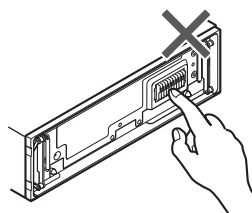
落とす、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。

高温になる場所、直射日光のあたる場所に置かないでください。

ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。

分解しないでください。

本体およびフロントパネルの端子部には触れないでください。端子部が汚れたときは、きれいな乾いた布でふいてください。



本機 の 操作 の 概要

本機の操作のまとめです。ひと通りの操作が終わった後、操作を忘れたときなどにお使いください。

ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、▲/▼/◀/▶ ボタンおよびBANDボタンで操作します。

聞いているソース 押すボタン	CD、MDを 聞いているとき	ラジオ、テレビを 聞いているとき
◀または▶ ボタン	選曲、早送り/早戻し	自動選局、手動選局
▲または▼ ボタン	再生するディスクの切り換え (マルチCD、マルチMDを接続している 場合のみ)	記憶させた放送局の切り換え
BAND ボタン	マルチCDの切り換え (マルチCDを2台以上接続している場合 のみ)	バンド (FM/AM) の切り換え

便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。オペレーションモードには5つのモードがあり、次の手順で操作します。

手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	DSPファンク ションモード	DSP詳細 設定モード
1	それぞれのモードにする	Fボタンを 押す	Fボタンを 2秒以上押す	電源がOFFの ときに、Fボタンを 2秒以上押す	DSPボタン を押す	DSPボタンを 2秒以上押す
2	機能を切り換える	Fボタンを押す			DSPボタン を押す	DSPボタン を押す
3	機能をON/OFFする または 項目を選ぶ	▲または▼ボタンを押す				
		◀または▶ボタンを押す				
4	それぞれのモードを 解除する	BANDボタンを押す				

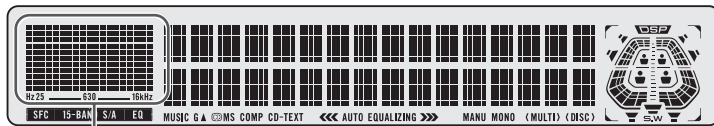
それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード : CDのリピート再生 (P. 24ページ) やマルチ CD のスキャン再生 (P. 47ページ) など、それぞれのソースの便利な機能を操作できます。
- 詳細設定モード : CDのタイトル入力 (P. 30ページ) やラジオの放送局名記憶 (P. 36ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード : 外部機器 (P. 92ページ) やディマー (P. 94ページ) などの設定ができます。
- DSPファンクションモード : リスニングポジションセレクター (P. 66ページ) や13バンドグラフィックイコライザー (P. 78ページ) など音場と音質に関する調節ができます。
- DSP詳細設定調節モード : ネットワーク調整 (P. 72ページ) やラウドネス (P. 82ページ) など、音質に関する調節ができます。

はじめに

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



▲/▼/◀/▶ ボタンの中で、操作可能なボタンが表示されます。

表示の例	内容
	▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。
	▲または▼ ボタンで機能の ON/OFF ができます。
	◀または▶ ボタンで項目を選ぶことができます。

聞きたいサウンドソースを選ぶ

聞きたいサウンドソース (音源) に切り換えることができます。

本体で操作する

1 本体でソースを切り換える

SOURCE/OFF ボタンを押す

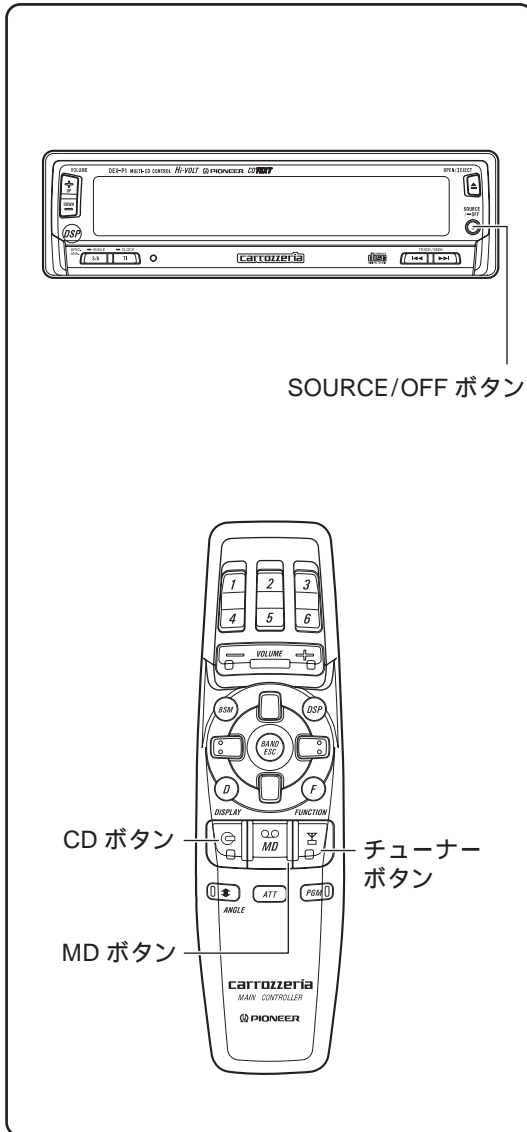
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- 内蔵 CD
- |
- テレビ
- |
- ラジオ (FM/AM)
- |
- 1 枚型 MD
- |
- マルチ MD
- |
- マルチ CD
- |
- AUX (外部機器)
- |
- 内蔵 CD に戻る

2 本体で電源を切る

SOURCE/OFF ボタンを 1 秒以上押す

本機の電源が切れます。



メモ

接続していないソースには切り換わりません。
また、AUX (外部機器) の設定 (P.92 ページ) を ON にしないと、AUX には切り換わりません。
CD や MD、テープがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。

メインコントローラーで操作する

メインコントローラー でソースを切り換える

チューナーボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

テレビ
|
ラジオ (FM/AM)
|
電源OFF
|
テレビ に戻る

CDボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

内蔵CD
|
マルチCD
|
内蔵CDに戻る

MDボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

1枚型MD
|
マルチMD
|
AUX (外部機器)
|
1枚型MD に戻る

テレビ、1枚型MD、マルチMDを 組み合わせたときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

組み合わせ例

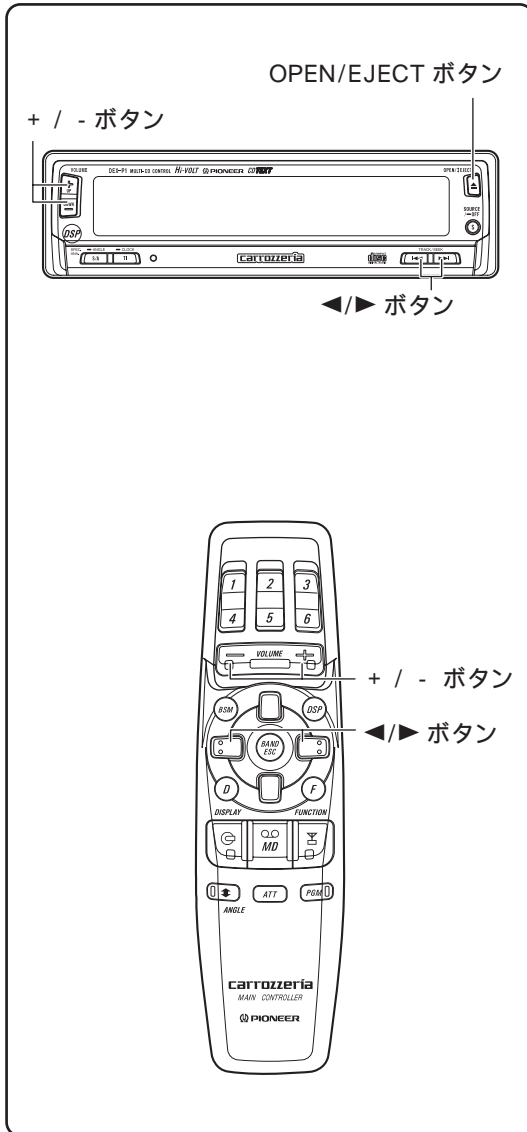
ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P707W」
1枚型MD	「MDS-P505」
マルチMD	「MD-P100II」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作説明が行われている場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。

CD のふだんの操作

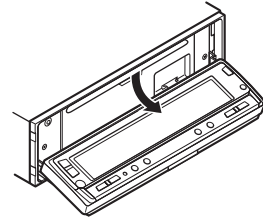
CD をセットする 曲を

ここだけの操作で、内蔵のCDプレーヤーでCDを聞くことができます。



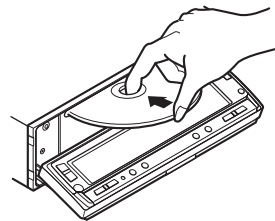
1 フロントパネルを開ける

OPEN/EJECT ボタンを押す



2 CD をセットする

タイトル面を上にして、CD を挿入口に差し込む



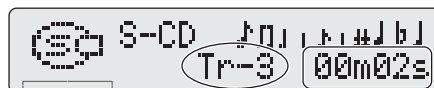
CD を挿入すると、フロントパネルは自動的に閉まります。

3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択 0.5秒以内

曲の早送り/早戻し 0.5秒以上押し続けている間

4 音量を調節する

+ または - ボタンを押す

+ : 大きくするとき

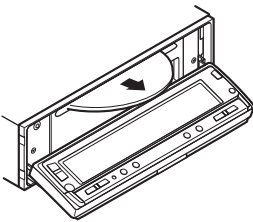
- : 小さくするとき



約4秒間、音量が表示されます。

5 CDを取り出してCD再生をやめる

OPEN/EJECT ボタンを2秒以上押す



または、CDをセットしたまま他のソースに切り換えるか、電源をOFFにします。(P.12ページ)

出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

また、CD挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐため、OPEN/EJECT ボタンを押してフロントパネルを閉めてください。

⚠ 注意

フロントパネルを開けたままで使用しない



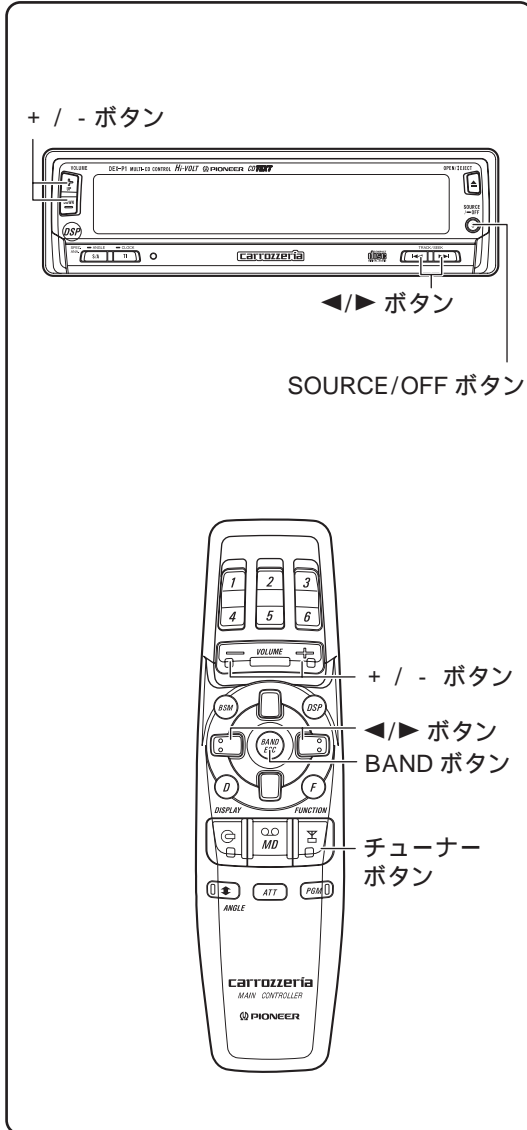
禁止

フロントパネルを開けたままでは使用しないでください。万一、事故が起きた場合、開けたままのフロントパネルに当たるとケガの原因となります。

ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ

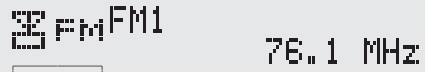
ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。



1 ソースをラジオにする (P. 12 ページ)

SOURCE/OFF または チューナー ボタンを押す

ラジオを受信します。

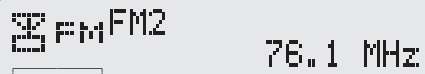


2 バンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のようにバンドが切り換わります。

- FM1
- |
- FM2
- |
- AM1
- |
- AM2
- |
- FM1 に戻る

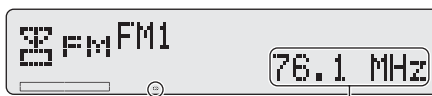


FM と AM のどちらとも、より多くの放送局を記憶できるように、1 と 2 のバンドに分かれています。(受信できる周波数は 1 と 2 のどちらも同じです。)

3 放送局を 選局する

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



ステレオ放送を受信すると 受信周波数表示されます。

選局方法の使い分け

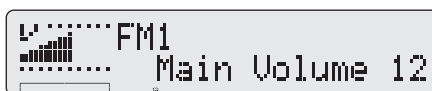
手動選局 (1ステップずつ)	0.3秒以内
自動選局	0.3秒～2秒の間
手動選局 (連続)	2秒以上押し続けている間

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

4 音量を 調節する

+ または - ボタンを押す

- + : 大きくするとき
- : 小さくするとき



約4秒間、音量が表示されます。

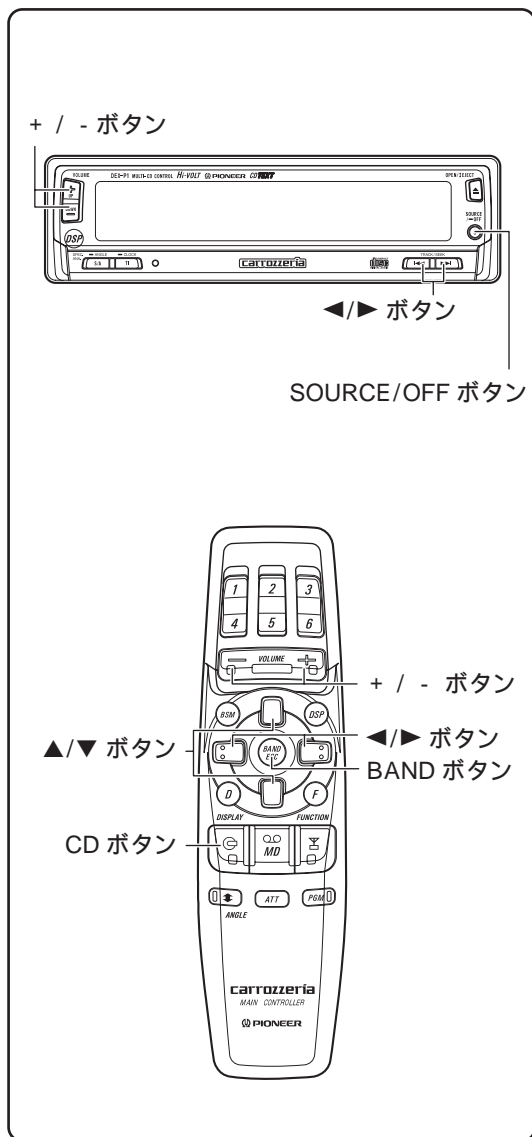
5 ラジオの受信を やめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにします。(P.12 ページ)

マルチCD のふだんの操作

ディスクを選

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

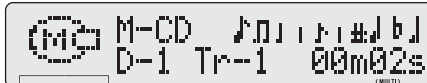


マルチCDを2台以上接続したときは再生するマルチCDを選ぶことができます。BAND ボタンを押すごとに、次のマルチCDの再生に切り換わります。



1 ソースをマルチCDにする (P.12 ページ)

SOURCE/OFF または CD ボタンを押す
マルチCDの再生が始まります。



2 聞きたいCDを選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次のCDを選ぶとき

▼ : 前のCDを選ぶとき



3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択 0.5秒以内

曲の早送り/早戻し 0.5秒以上押し続けている間

4 音量を調節する

+ または - ボタンを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



約4秒間、音量が表示されます。

5 マルチCD再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにします。(P.12ページ)

メモ

別売のIP-BUS拡張アダプター「CD-P33」などを使うと、複数のマルチCDを接続できます。接続できる台数については、IP-BUS拡張アダプターの説明書をご覧ください。(「CDX-P630S」のように、2台以上接続することができないマルチCDがあります。)

マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、「NO MAGAZINE」が表示されます。

マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると「READY」が表示されます。

50連奏マルチCDを操作する場合は、準備動作が終了していないと「NOT READY」と表示され動作しない機能があります。その場合は、50連奏マルチCD以外のソースに切り換えてください。その間に自動的に準備動作を行います。

CD TEXTのタイトルを表示する

「CD TEXT」再生中にディスク名 / 歌手名 / 曲名といったタイトルをそれぞれ表示させることができます。

表示を切り換える

表示を切り換える

D ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

ディスクタイトル (ディスク名)

|

ディスクアーティストネーム (歌手名)

|

トラックタイトル (曲名)

|

トラックアーティストネーム * (歌手名)

|

ディスクタイトル (ディスク名) に戻る

例) ディスクアーティストネーム (内蔵CDの場合)

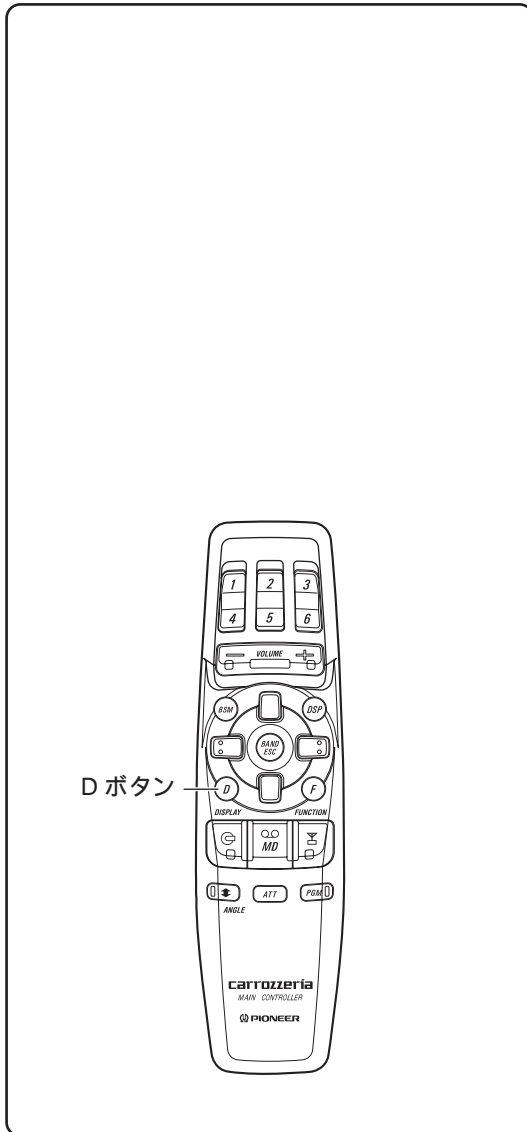


“ArtistName”を表示後、そのCDTEXTに記憶されているディスクアーティストネームを表示します。また、CD TEXT再生中は、“CD TEXT”が点灯します。

メモ

* トラックアーティスト名表示は、CD TEXTに対応したマルチCDプレーヤー (CDX-P1240TXなど) の機能です。内蔵CDでCD TEXTを再生している場合は、切り換えることはできません。

「CD TEXT」とは、ディスク名 / 歌手名 / 曲名などの文字情報が記憶されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークの付いているCDは「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



表示切り換え/タイトルスクロール

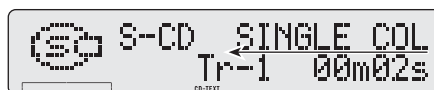
ディスク名 / 歌手名 / 曲名はディスプレイに10文字までしか表示されませんが、隠れている文字をスクロール表示させることができます。

隠れているタイトルを表示する (タイトルスクロール)

隠れているタイトルを表示する

D ボタンを2秒以上押す

隠れている文字が順番に表示されていきます。



メモ

タイトルスクロール中にDボタンを押すと、タイトルスクロールが解除されます。

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

ファンクション モードを切り換える

F ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ 24 ページ)

|

ランダムモード (☞ 25 ページ)

|

スキャンモード (☞ 26 ページ)

|

ポーズモード (☞ 27 ページ)

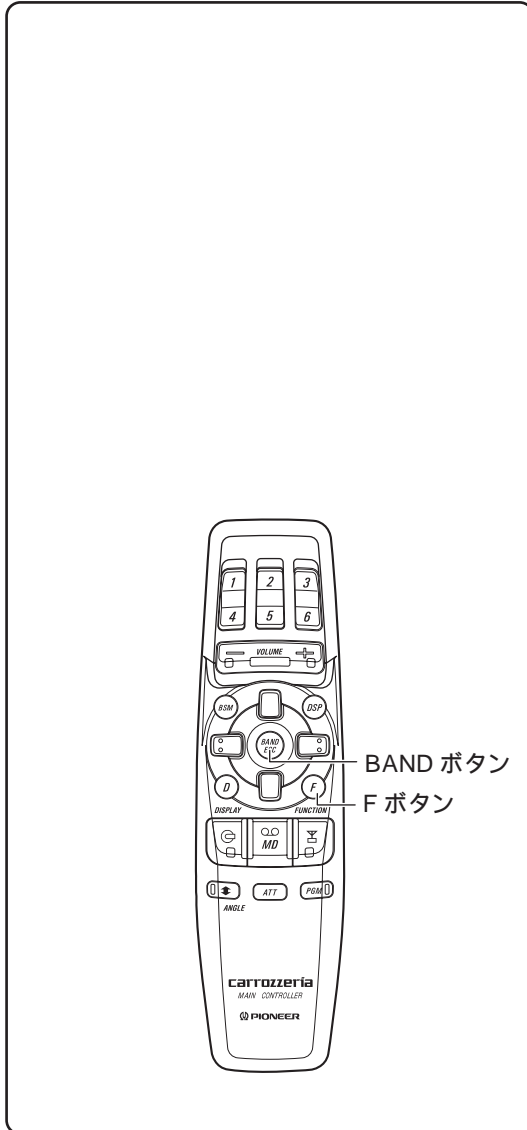
|

COMP 切り換えモード (☞ 28 ページ)

|

リピートモードに戻る

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)



詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定 モードにする

F ボタンを2 秒以上押す

2 詳細設定モードを 切り換える

F ボタンを押す

タイトル入力モード* (☞ 30 ページ)

|

プログラムファンクションモード
(☞ 84 ページ)

|

タイトル入力モードに戻る

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

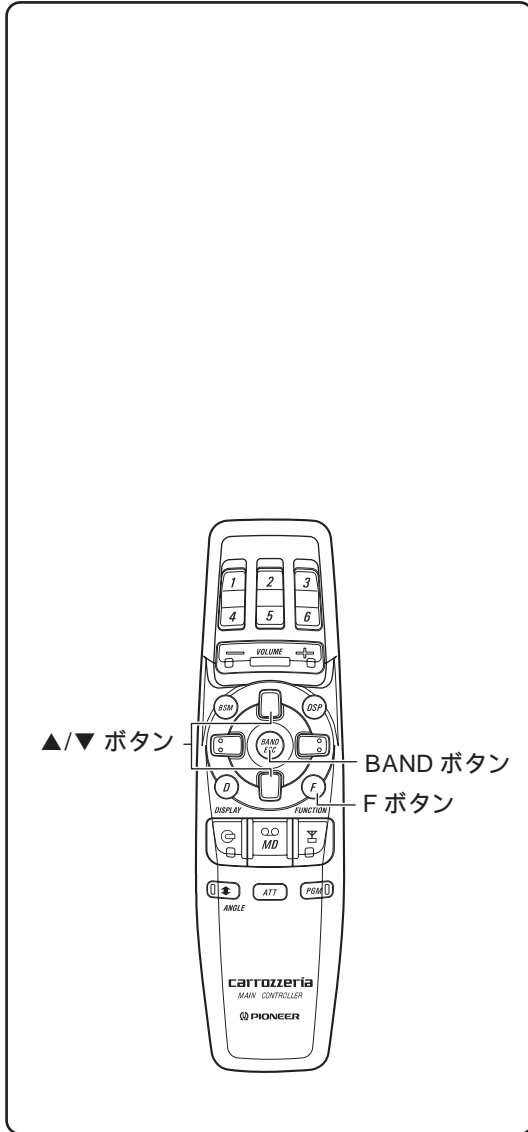
メモ

*「CD TEXT」を再生している場合は、タイトル入力モードには切り換わりません。

同じ曲を繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。



1

リピート
モードにする (P. 22ページ)

F ボタンを押す

2

リピート再生を
ONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)

+ ON FUNC
+ OFF Repeat : On

今聞いている曲を繰り返し再生します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲を内蔵のCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

1 ランダム モードにする (P. 22ページ)

F ボタンを押す

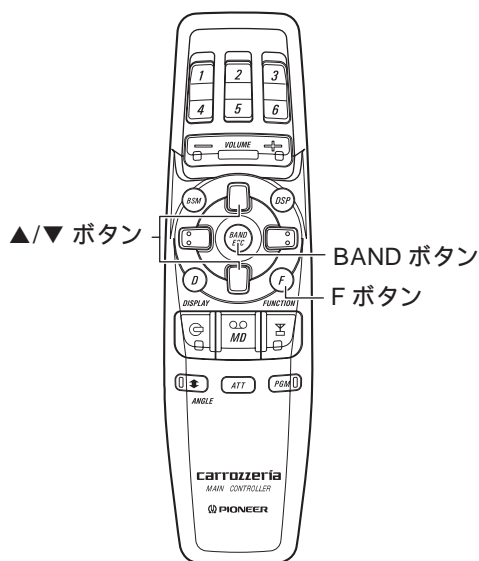
2 ランダム再生を ONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)

```
+ ON FUNC  
+ OFF Random : On
```

次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

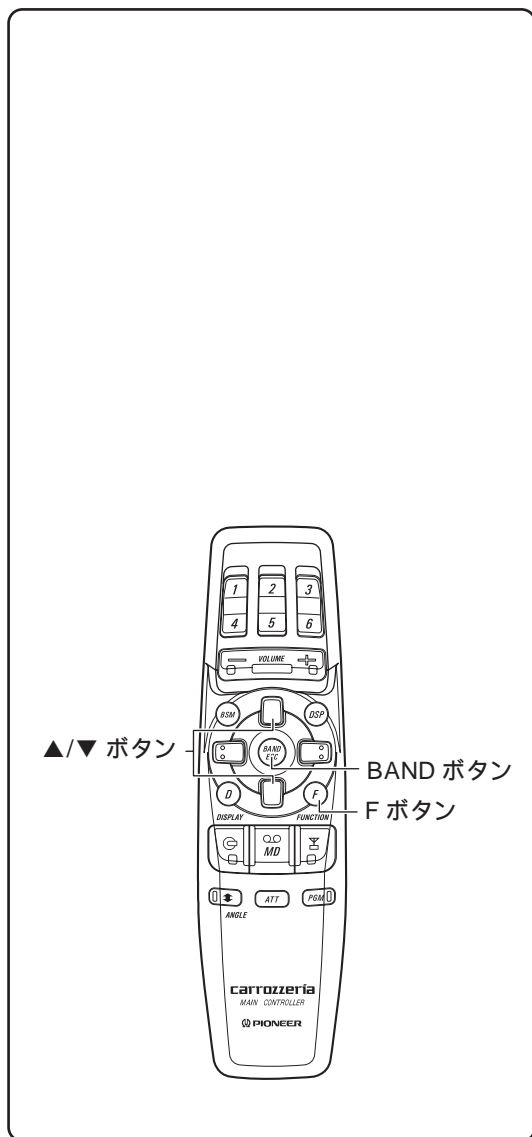


内蔵CDでCDを聞く

聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。



1 スキャンモードにする (P. 22ページ)

F ボタンを押す

2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す

+ ON FUNC
+ OFF Scan : On

曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。

3 聞きたい曲が再生されたらスキャン再生を解除する

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を解除してください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す

+ ON FUNC
+ OFF Scan : Off

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は自動的に解除されます。

CD 再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズ モードにする (P. 22ページ)

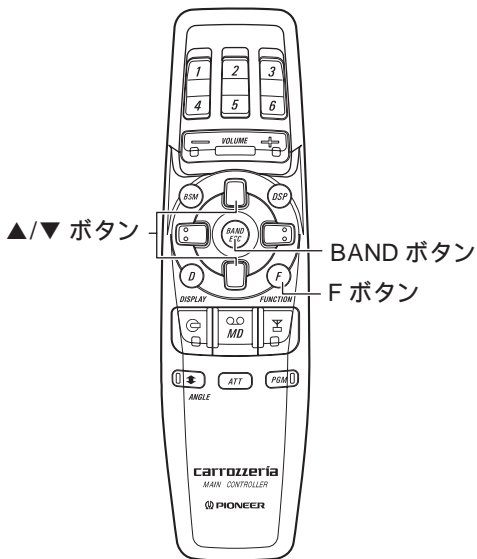
F ボタンを押す

2 CD再生を 一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)

```
+ ON FUNC  
+ OFF      Pause :On
```

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



内蔵CDでCDを聞く

CD の音質を調整する

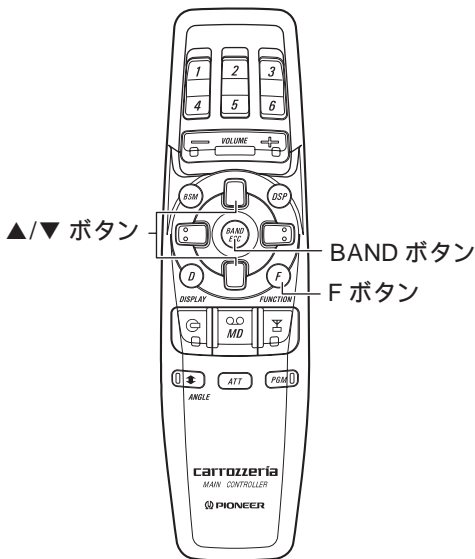
大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

コンプレッションについて

コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック パス エンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。



1 COMP切り換え モードにする (P.22 ページ)

F ボタンを押す

2 機能を 選ぶ

▲ ボタンまたは▼ ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

COMP OFF
|
COMP 1
|
COMP 2
|
COMP OFF
|
DBE 1
|
DBE 2
|
COMP OFF に戻る

例) コンプレッション1 を選んだとき



COMP 1、COMP 2 を選んだときは、“COMP” が点灯します。

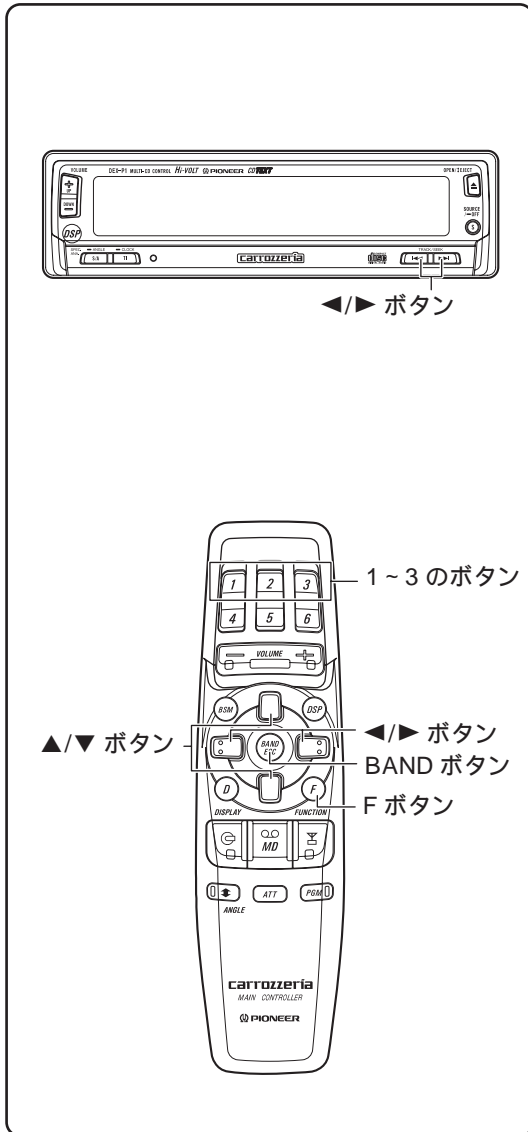
COMP および DBE はどちらも 1 より 2 の方が効果が大きくなります。

|

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

CDのタイトルを記憶させる

CDのタイトルを記憶させると、記憶させたCDを再生したときにCDのタイトルも同時に表示させることができます。



1 タイトルを入力したいCDを再生する (14ページ)

2 タイトル入力モードにする

F ボタンを2秒以上押す

「CD TEXT」を再生している場合は、タイトル入力モードには切り換わりません。

3 文字モードを切り換える

1のボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

大文字 (A ~ Z)、記号 (!、#、& など)
数字 (0 ~ 9)

小文字 (a ~ z)

大文字 (A ~ Z)、記号 (!、#、& など)
数字 (0 ~ 9) に戻る

2のボタンを押す

数字 (0 ~ 9)、記号 (!、#、& など)

3のボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

カタカナ (ア～ン)

カタカナの拗促音 (ア、イ、ウなど)、
濁音、半濁音

カタカナ (ア～ン) に戻る

メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) に BAND ボタンを押すと、タイトル入力モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

4 タイトルを入力する

入力する文字を選ぶとき

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次の文字を選ぶとき

▼ : 前の文字を選ぶとき



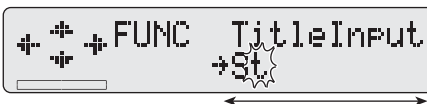
選んだ文字が点滅します。

入力する位置を選ぶとき

◀ または ▶ ボタンを押す

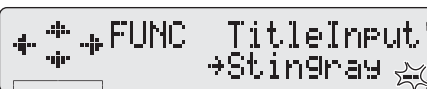
▶ : 右に移動させるとき

◀ : 左に移動させるとき



10文字まで入力できます。

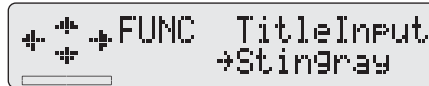
5 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余った場合は空白を入力して、
10文字目を点滅させます。

6 入力したタイトルを 記憶する

▶ ボタンを押す



入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させることで、CDのタイトルをディスプレイに表示させる機能です。

タイトルは10文字まで入力できます。

内蔵CDのタイトルは、48枚分(マルチCD接続時は100枚分)のタイトルを記憶することができます。

48枚(マルチCD接続時は100枚)を超えたときは、入力の順番の古いCD(マルチCD接続時は再生頻度の少ないCD)の記憶が消されて、新しいCDタイトルが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDを取り出しても消えません。そのCDを内蔵CD、マルチCDのどちらにセットしてもディスプレイにタイトルを表示します。

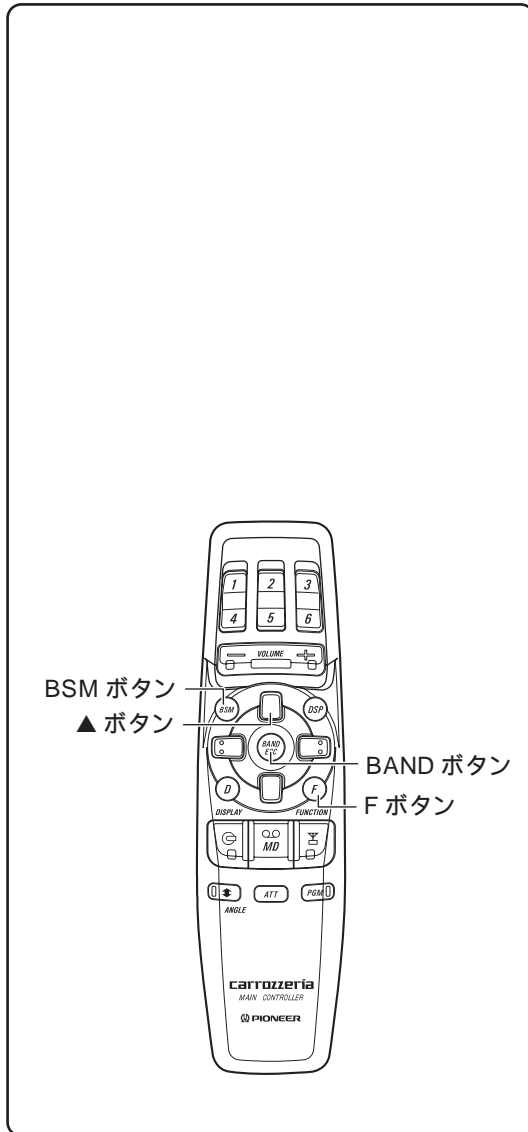
マルチCD接続時のタイトルは、ITS (52 48ページ)、グループ分け(52 52ページ)と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。



1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

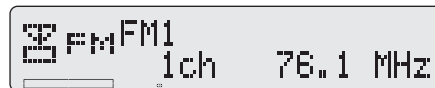
2 BSM を始める

BSM ボタンを2秒以上押す



記憶動作中に点滅します。

記憶が終わると点滅が終わり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。



メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

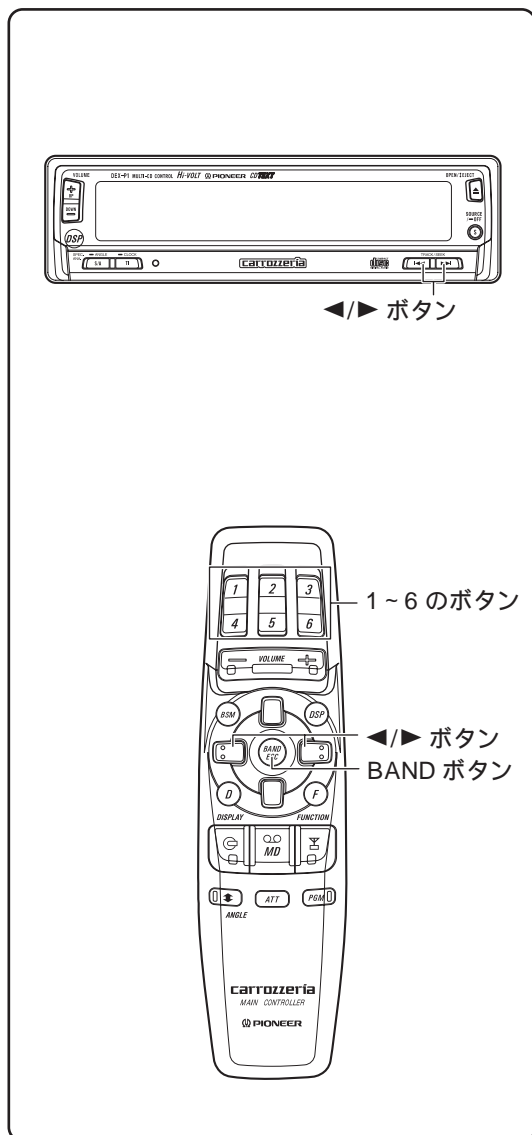
記憶させた放送局を呼び出すには (P. 34 ページ)

F ボタンを押して、BSM モードに切り換えてから ▲ ボタンを押すことでも、BSM を行うことができます。

放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。



1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

2 記憶させたい放送局を選局する (P. 17ページ)

◀または▶ ボタンを押す

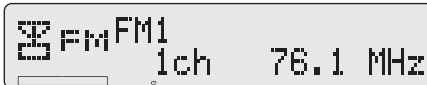
3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。

↓



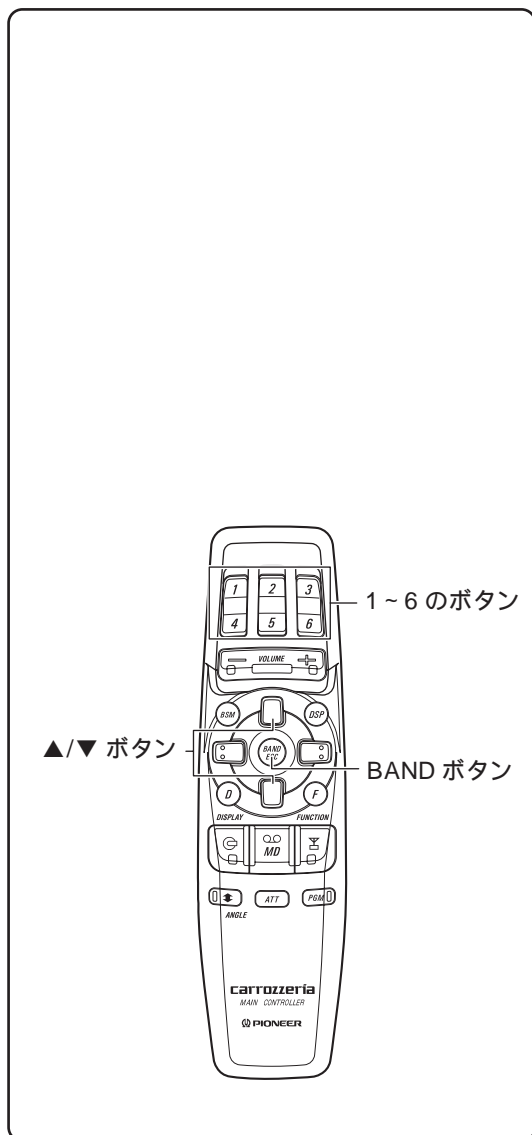
記憶が終わると点滅が終わり、受信中の放送局が記憶されます。

ラジオを聞く

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。



1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す

1 ~ 6 のボタンの1つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出す

▲または▼ボタンを押す

▲ : 次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼ : 前の記憶番号の放送局を呼び出すとき

FM FM1
1ch 76.1 MHz

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

詳細設定モードの切換

1 詳細設定 モードにする

F ボタンを2秒以上押す

2 詳細設定 モードを切り換える

F ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

放送局名モード (☞ 36ページ)

|

ダイバーシティモード (☞ 38ページ)

|

プログラムファンクションモード
(☞ 84ページ)

|

放送局名モードに戻る

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

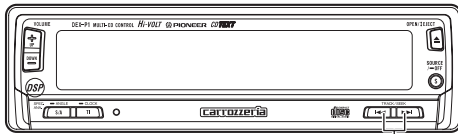


BAND ボタン

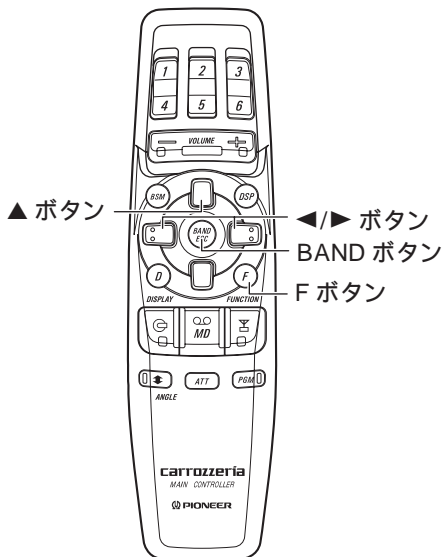
F ボタン

放送局名を記憶させる

放送局名を記憶させると、記憶させた周波数を選局したときに放送局名も同時に表示させることができます。



◀/▶ ボタン



▲ ボタン

◀/▶ ボタン

BAND ボタン

F ボタン

放送局名表示について

放送局名表示は、受信中の周波数に該当する放送局名を記憶させることで、ディスプレイに表示させる機能です。

FMで12局分、AMで12局分記憶することができます。

それぞれのバンドで記憶できる局数を超えたときは、いちばん古い記憶が消されます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

2 表示させたい放送局を選局する (P. 17 ページ)

◀ または ▶ ボタンを押す

3 放送局名モードにする (P. 35 ページ)

F ボタンを2 秒以上押してから、F ボタンを押す

4 放送局名を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 次の放送局名を選ぶとき

◀ : 前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名が点滅します。

本機に登録されていない放送局名は選べません。

5 放送局名を記憶する

▲ ボタンを押す



BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“NO DATA”と表示されます。

放送局名を表示させたくないときは、“_____” (全て空白) を選んでください。

パイオニア製のFM モジュレータータイプのマルチCD (「CDX-FM629S」など) をお使いの方は、モジュレーター周波数にあわせると、“FM M-CD” の放送局名を選ぶことができます。

2つのアンテナでFM放送を受信する

ダイバーシティ

FMダイバーシティをお使いのときは、ダイバーシティの設定をONにします。
ONにすると、メイン用アンテナの受信感度が悪いときは、自動的にサブ用アンテナに切り換えて受信します。

ダイバーシティについて

FMダイバーシティは、FM放送を2つのアンテナで受信するものです。メイン用アンテナの受信感度が悪いときは、サブ用アンテナに切り換えて受信します。

FM放送を1つのアンテナで受信するときは、FMダイバーシティをOFFでお使いください。ONで使うと、感度が悪くなったり、雑音が増加したりすることがあります。

1 ダイバーシティモードにする (P.35)

F ボタンを2秒以上押してから、F ボタンを押す

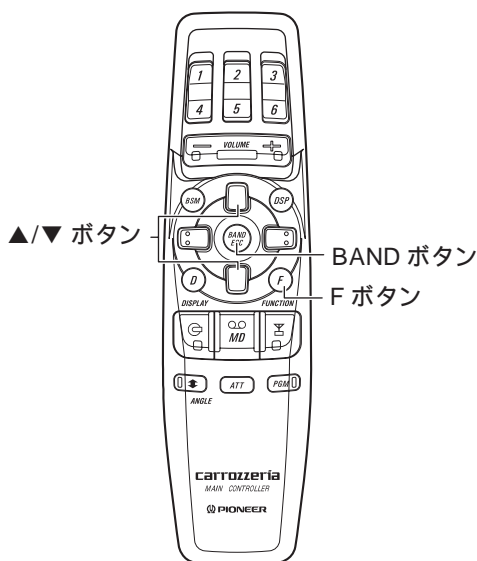
2 ダイバーシティの設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)

```

+ ON FUNC
+ OFF Diversity :On
  
```

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



聞きたいCDを直接選ぶ (6/12枚)

ダイレクトサーチ

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

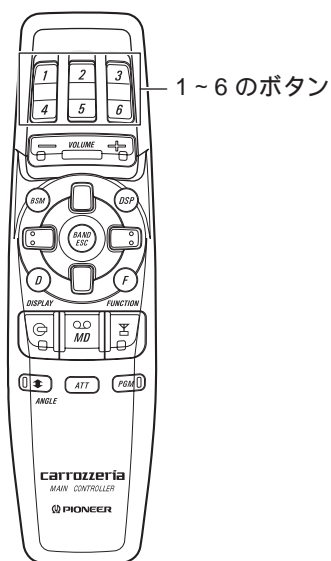
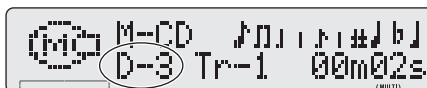
チェック 6連奏/12連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

聞きたいCDを選ぶ

1～6のボタンを押す

2秒以内：1～6枚目のCDを選ぶとき

2秒以上：7～12枚目のCDを選ぶとき



おおまかに選んでから聞きたいCDを選ぶ(50枚)

ラフサーチ

聞きたいCDの10の位の数字を合わせることができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 聞きたいCDを おおまかに選ぶ

1～5のボタンを押す

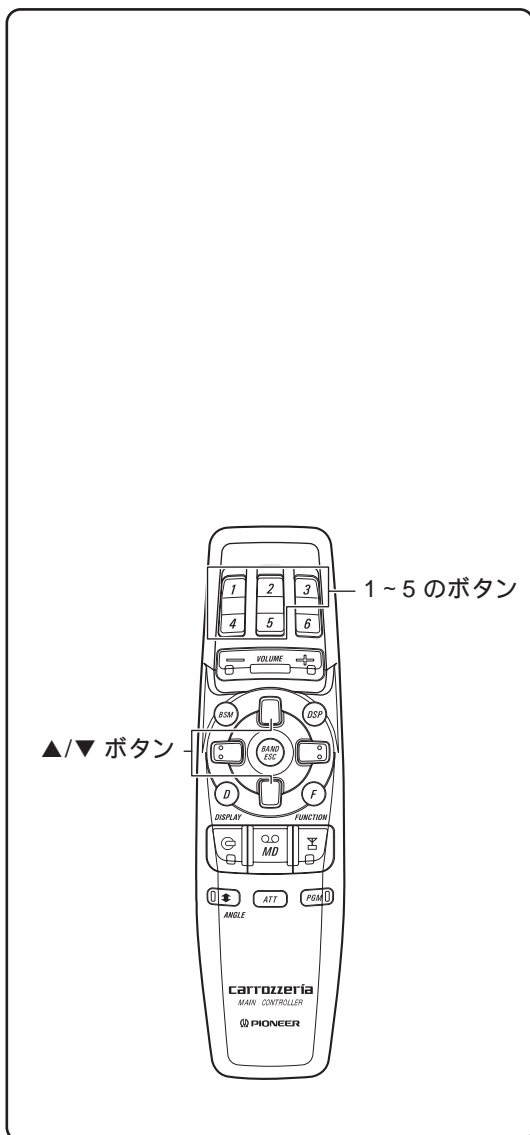
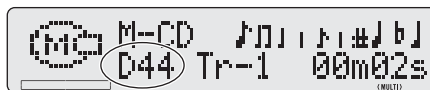
- 1 : 10～19枚目のCDを選ぶとき
- 2 : 20～29枚目のCDを選ぶとき
- 3 : 30～39枚目のCDを選ぶとき
- 4 : 40～49枚目のCDを選ぶとき
- 5 : 50、51枚目のCDを選ぶとき



2 聞きたいCDを 選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

- ▲ : 次のCDを選ぶとき
- ▼ : 前のCDを選ぶとき



マルチCDでCDを聞く

メモ

エクストラトレイにあるCDを選んだときや、エクストラトレイからマガジンにCDが移動しているときは、“NOW LOADING”が表示されます。
(50連奏マルチCDプレーヤーの取扱説明書)

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

ファンクション モードを切り換える

F ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ 44 ページ)

|

タイトルリストモード (☞ 57 ページ)

|

“ABC”ディスクタイトル
サーチモード(50枚) (☞ 58 ページ)

|

ランダムモード (☞ 45 ページ)

|

スキャンモード (☞ 47 ページ)

|

ITS 再生モード (☞ 49 ページ)

|

ミュージックグループ別
モード(50枚) (☞ 54 ページ)

|

演奏頻度別モード(50枚) (☞ 56 ページ)

|

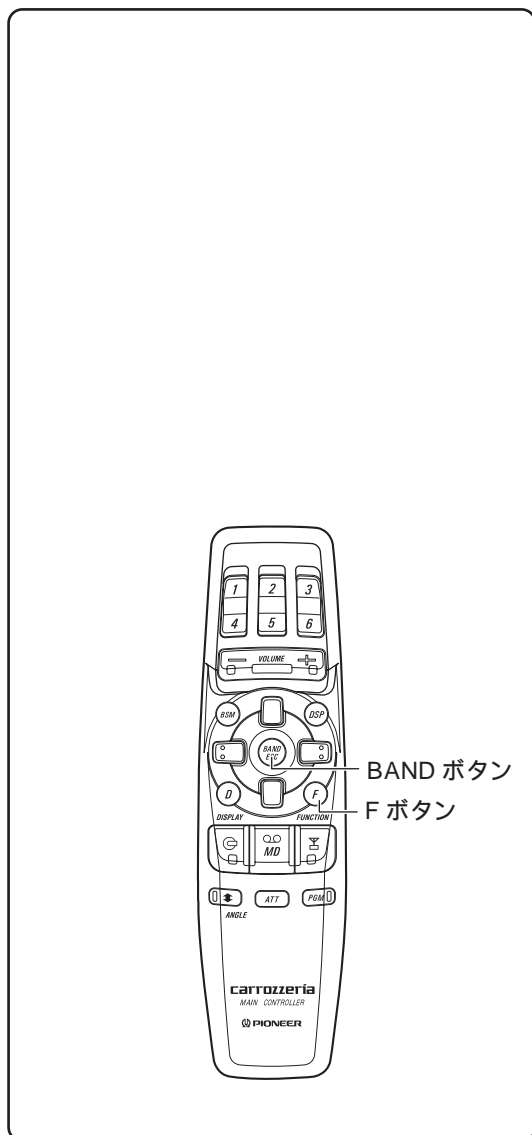
ポーズモード (☞ 46 ページ)

|

COMP 切り換えモード* (☞ 28 ページ)

|

リピートモードに戻る



メモ

* コンプレッション/DBE 機能のないマルチCD と組み合わせた場合は、“NO COMP” と表示され操作できません。

COMP 切り換えモードに切り換えたあとの操作方法および機能説明については、CD の音質を調整するには (☞ 28 ページ)

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

1 詳細設定 モードにする

F ボタンを2 秒以上押す

2 詳細設定 モードを切り換える

F ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード* (☞ 30 ページ)

|

ITS 入力モード (☞ 48 ページ)

|

ミュージックグループ別
入力モード(50 枚) (☞ 52 ページ)

|

タイトル入力モードに戻る

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

メモ

*「CD TEXT」に対応したマルチCD プレーヤー（「CDX-P1240TX」など）で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。

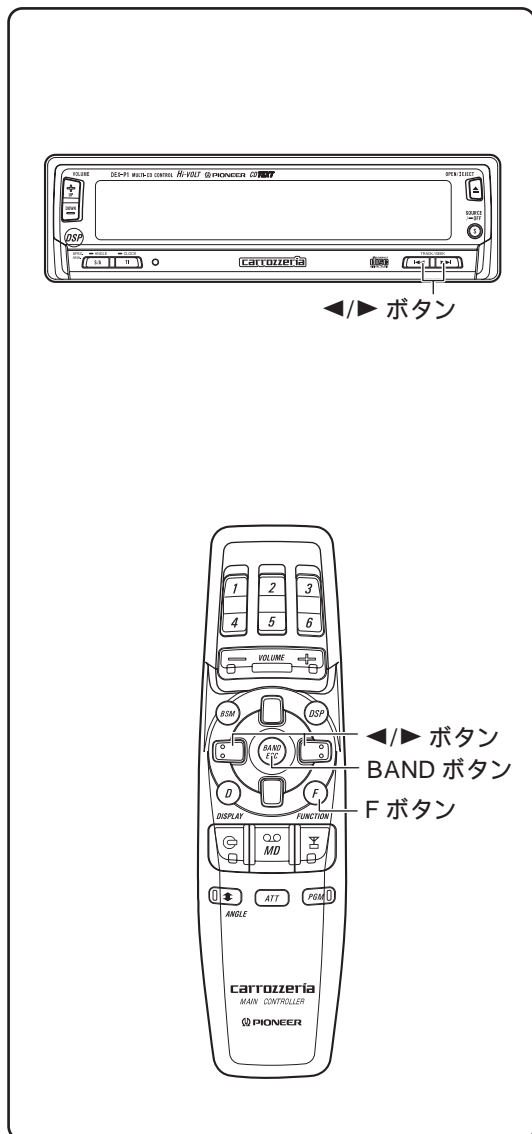
また、その場合、「CD TEXT」再生中にディスク名 / 歌手名 / 曲名といったタイトルをそれぞれ表示させることができます。（CD TEXT のタイトルを表示するには (☞ 20 ページ)）

タイトル入力モードに切り換えたあとの操作方法および機能説明については、CD のタイトルを記憶させるには (☞ 30 ページ)

同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。



1 リピートモードにする (P. 42ページ)

F ボタンを押す

再生範囲について

再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マガジンリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。

2 再生範囲を切り換える

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

トラックリピート (TRK)

|

ディスクリピート (DSC)

|

マガジンリピート (MCD)

|

トラックリピートに戻る

メモ

マルチCDを2台以上接続したときは、マガジンリピートの次に、オールリピート (ALL) に切り換わります。オールリピートにすると、接続したすべてのマルチCDを通して再生します。

```

+ FUNC Play Mode
SEL Repeat : MCD
  
```

|

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 リピートモードにして 再生範囲を選ぶ (P. 44 ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダム モードにする (P. 42 ページ)

F ボタンを押す

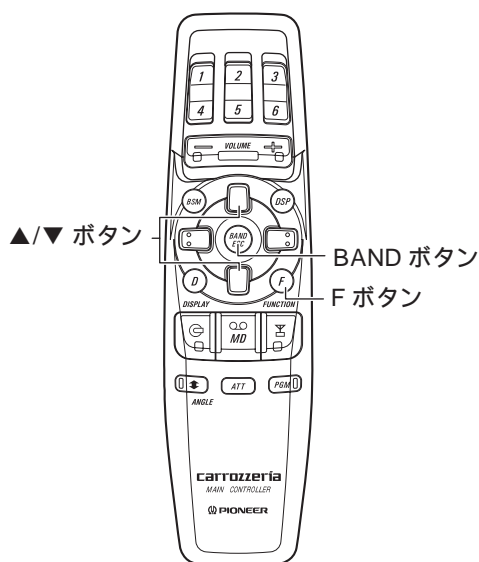
3 ランダム再生を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)

```
+ CH FUNC  
+ OFF Random : On  
(MULTI)
```

次の曲から、ランダムに選曲します。

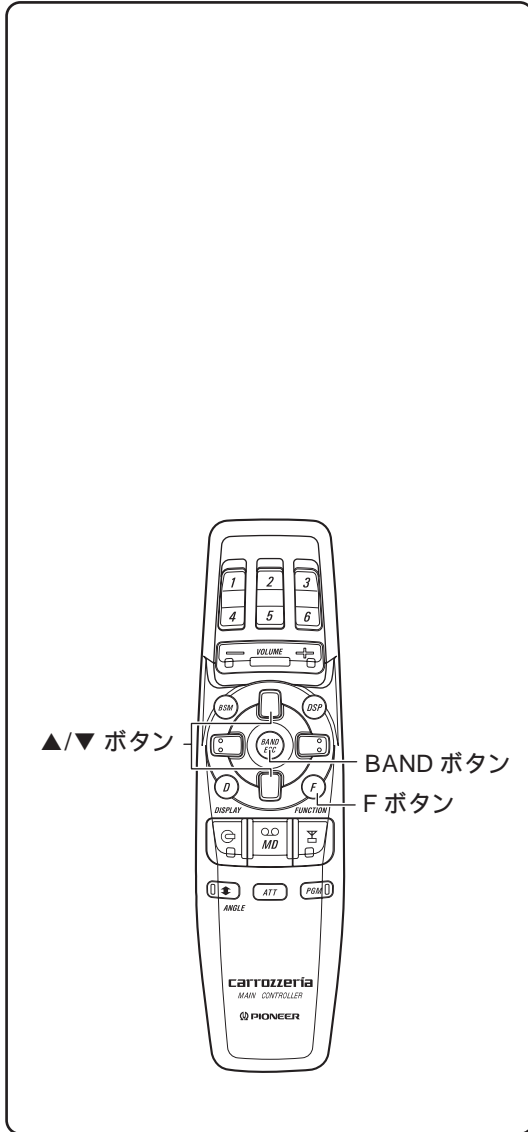
BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



CD 再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

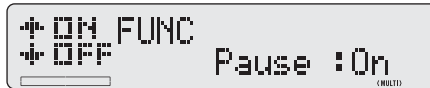


1 ポーズ モードにする (P. 42ページ)

F ボタンを押す

2 CD再生を 一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)

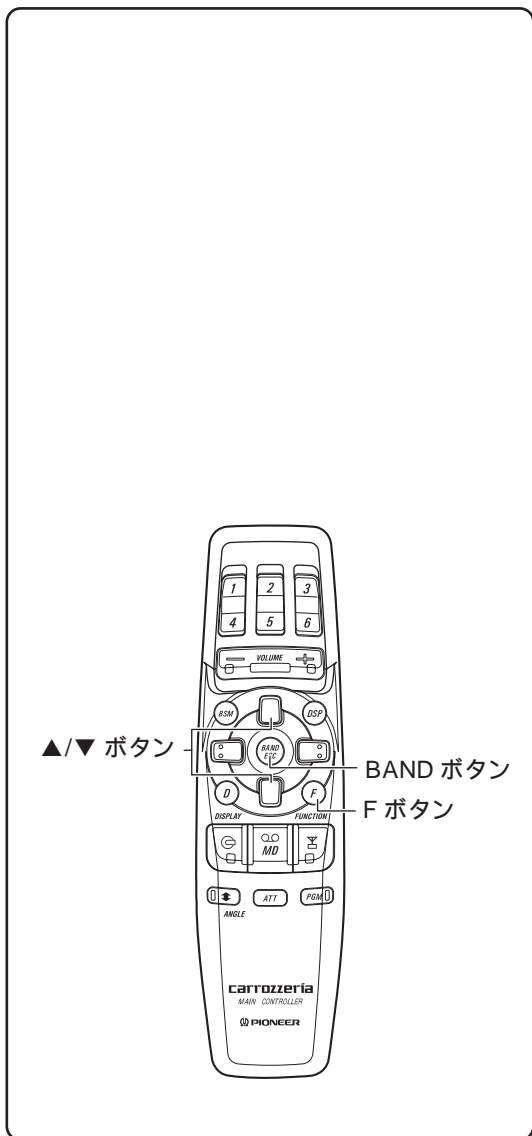


BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。



1 リpeatモードにして再生範囲を選ぶ (P. 44ページ)

聞きたい曲をさがすとき

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいCDをさがすとき

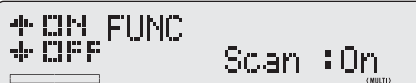
再生範囲をマガジンリピートに切り換えます。マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

2 スキャンモードにする (P. 42ページ)

F ボタンを押す

3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

4 聞きたい曲 (CD) が再生されたらスキャン再生を解除する

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を解除してください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

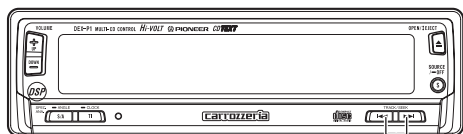
スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

マルチCDを2台以上接続したときは、手順1でオールリピートを選んで、スキャン再生をすることもできます。この場合、接続したすべてのマルチCD内の、すべてのCDの1曲目だけが再生されます。

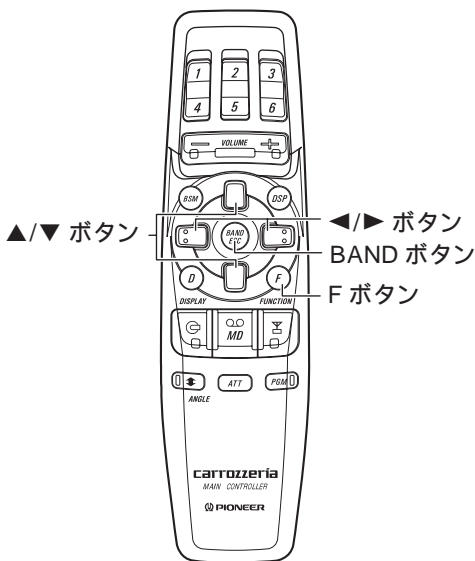
聞きたい曲だけ記憶させておく

ITS 記憶

記憶させた曲だけ再生する (P. 次ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。



◀▶ ボタン



▲/▼ ボタン

▶/◀ ボタン

BAND ボタン

F ボタン

1 記憶させたいCDを再生する (P. 18ページ)

▲ または ▼ ボタンを押す

2 ITS入力モードにする (P. 43ページ)

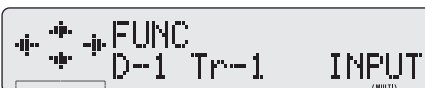
F ボタンを2秒以上押してから、F ボタンを押す

3 記憶させたい曲を選ぶ (P. 18ページ)

◀ または ▶ ボタンを押す

4 記憶させる

▲ ボタンを押す



“INPUT” が約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (P. 次ページ) 機能です。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

CD1枚につき24曲まで記憶できます。(25曲以上収録されているCDでは、25曲目以降に収録されている曲は記憶できません。)

ITSは、タイトル (P. 30ページ)、グループ分け (P. 52ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

記憶させた曲だけ再生する

ITS 再生

ITS記憶 (P. 前ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

1 リピートモードにして 再生範囲を選ぶ (P. 44ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITS再生 モードにする (P. 42ページ)

F ボタンを押す

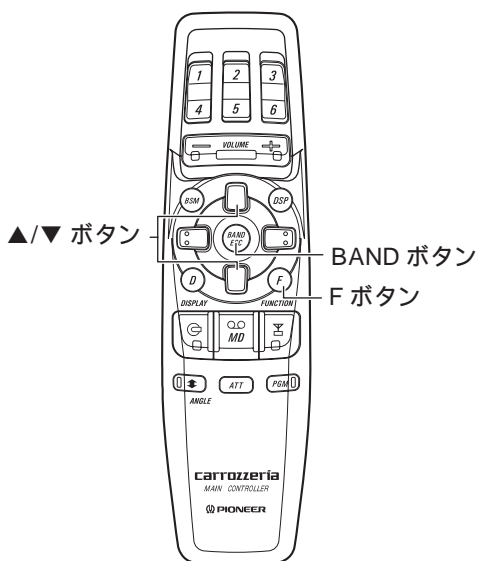
3 ITS再生を ONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)

```
+ CH FUNC  
+ OFF ITS-Play :On  
(MULTI)
```

ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



マルチCDでCDを聞く

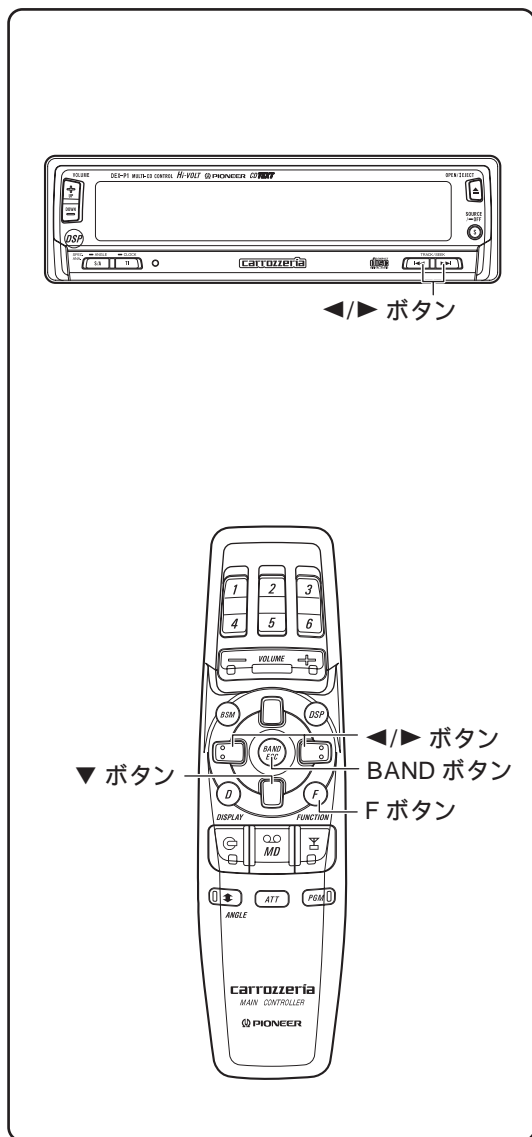
メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS EMPTY”が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS 消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。



1 ITS再生を
ONにする (☞ 前ページ)

2 消去したい曲を
再生する (☞ 18ページ)

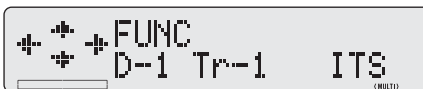
◀ または ▶ ボタンを押す

3 ITS入力
モードにする (☞ 43ページ)

F ボタンを2秒以上押してから、F ボタンを押す

4 消去する

▼ ボタンを押す



再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS 消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

1 消去したいCDを再生する (P. 18ページ)

▲ または ▼ ボタンを押す

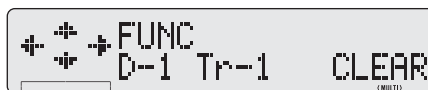
ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。

2 ITS入力モードにする (P. 43ページ)

F ボタンを2秒以上押してから、F ボタンを押す

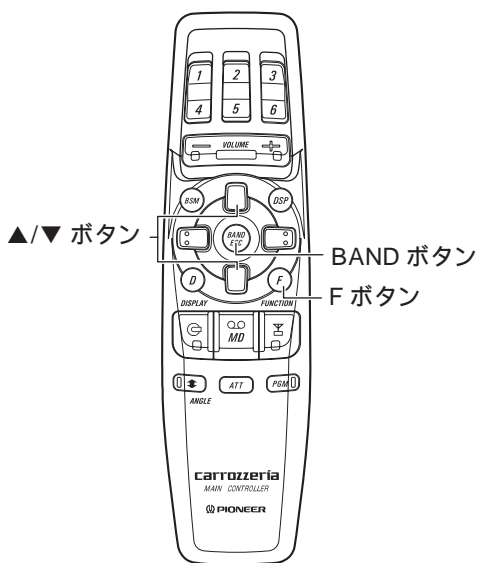
3 消去する

▼ ボタンを押す



“CLEAR” が約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

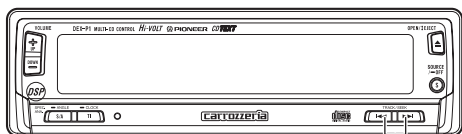
BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



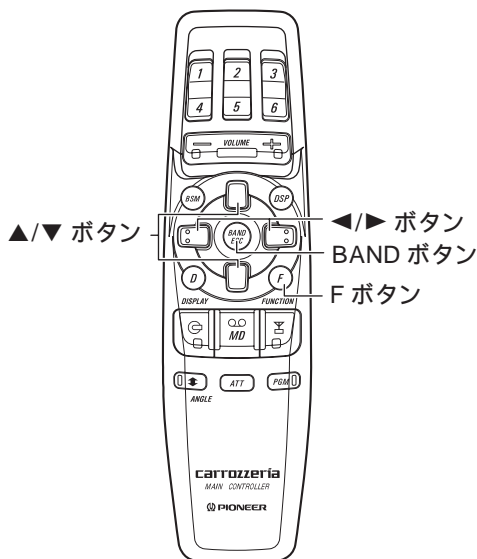
CDをグループ分けする (50枚)

聞きたいグループ (ジャンル) のCDだけを再生する (P. 54ページ) ために、あらかじめCDをグループ分けしておきます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



◀/▶ ボタン



▲/▼ ボタン

◀/▶ ボタン

BAND ボタン

F ボタン

グループ分けについて

グループ分けは、聞きたいCDをグループごと記憶させておき、それを再生する (P. 54ページ) 機能です。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

グループ分けは、タイトル (P. 30ページ)、ITS (P. 48ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

1 グループ分けさせたい CDを再生する (P. 18ページ)

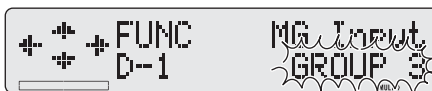
▲ または ▼ ボタンを押す

2 ミュージックグループ別 入力モードにする (P. 43ページ)

F ボタンを2 秒以上押してから、F ボタンを押す

3 グループを 選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す



選んだグループが点滅します。

次のようなグループがあります。

ROCK 1	ROCK 2	POP 1
POP 2	JAZZ	FUSION
CLASSIC	GROUP 1	GROUP 2
GROUP 3		

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除

4 記憶させる

▲ ボタンを押す



一度点滅が止まり、記憶したことを知らせます。

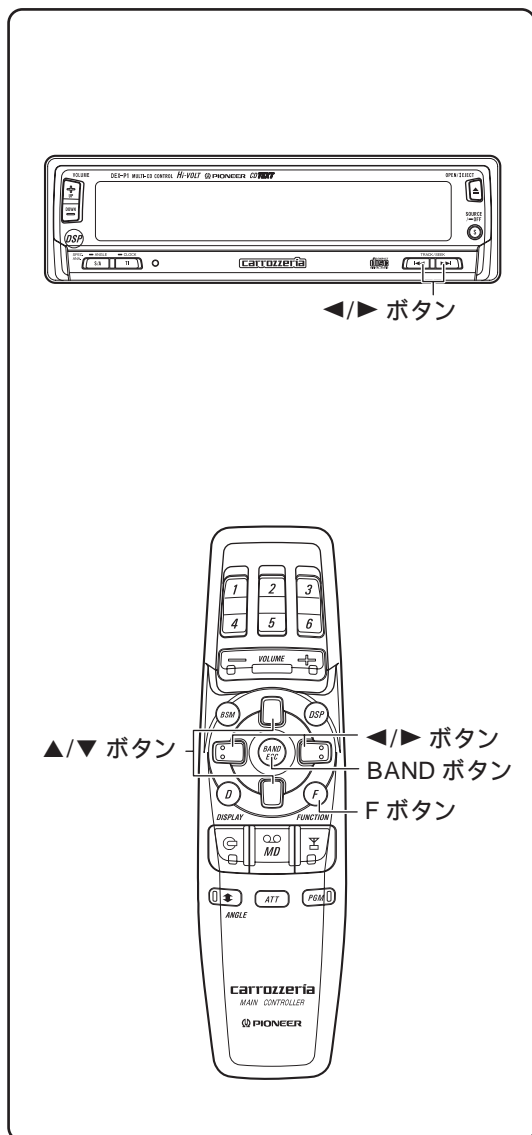
BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

グループ別で再生する (50 枚)

ミュージックグループ別再生

グループ分け (P.52 ページ) されたCDだけを再生することができます。

チェック 50 連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



1 ミュージックグループ別モードにする (P.42 ページ)

F ボタンを押す

2 聞きたいグループを選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す



選んだグループが表示されます。

3 グループ別再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



グループ別再生が始まり、グループ分けされたCDだけが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

手順2で選んだグループにCDが記憶されていない場合は、“MG EMPTY”が約2秒間表示されて、ミュージックグループ別再生は行われません。

CD をグループから消す (50 枚)

ミュージックグループ別消去

グループ分けされたCDをグループから消すことができます。

チェック 50 連奏マルチCD プレーヤーの機能です。

1 消去したいCDを再生する (P.18 ページ)

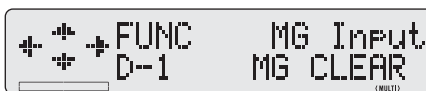
▲ または ▼ ボタンを押す

2 ミュージックグループ別入力モードにする (P.43 ページ)

F ボタンを2秒以上押してから、F ボタンを押す

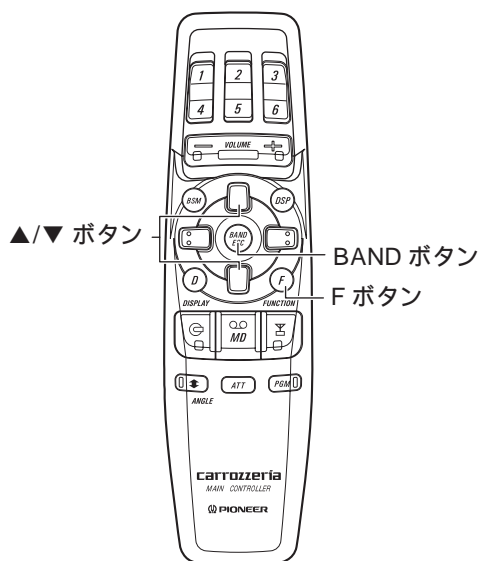
3 消去する

▼ ボタンを押す



“MG CLEAR” が約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



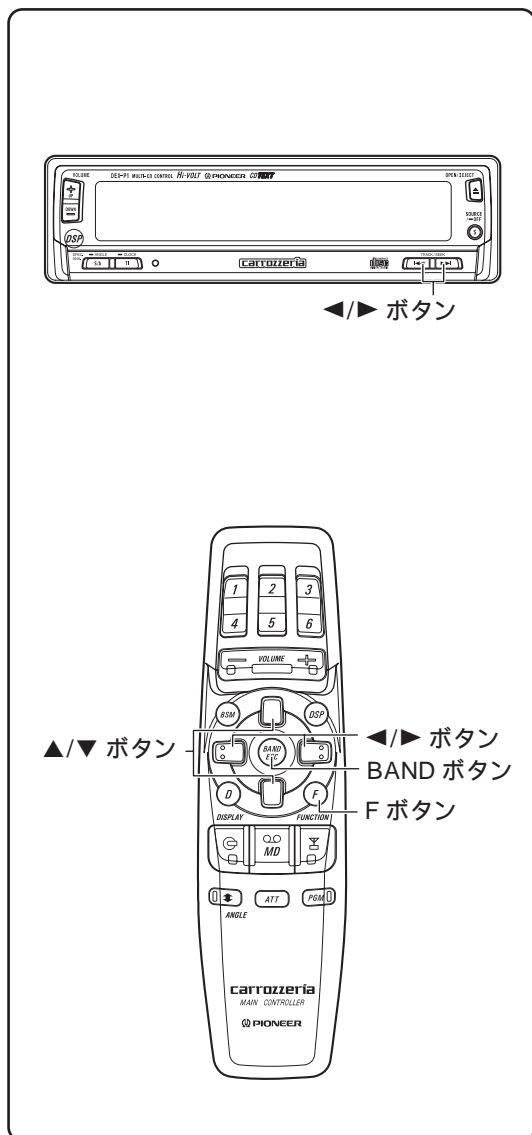
マルチCDでCDを聞く

演奏頻度でCDを再生する (50枚)

演奏頻度別再生

日ごろよく聞くCDやあまり聞かないCDを、頻度順に再生することができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



1 演奏頻度別モードにする (P.42ページ)

F ボタンを押す

2 頻度を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : Most を選ぶとき

◀ : Least を選ぶとき



選んだ頻度が表示されます。

3 頻度別再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



演奏頻度別再生が始まり、頻度順にCDが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

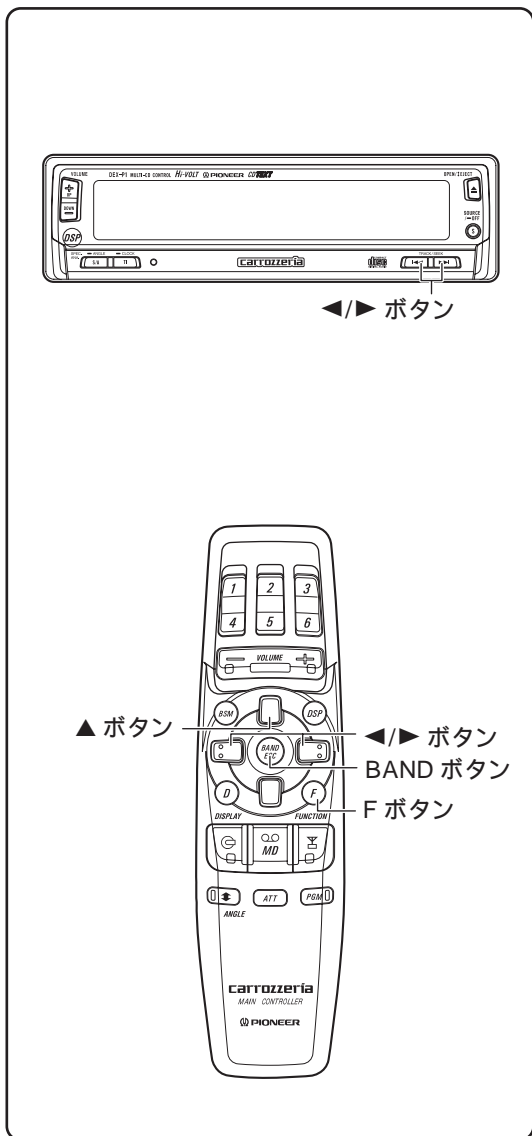
演奏頻度別再生について

演奏頻度別再生は、マガジンにセットされているCDの再生された頻度により、よく聞くCD順 (Most) または、あまりよく聞かないCD順 (Least) に再生する機能です。

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。(CDのタイトルを記憶させる (P.30 ページ) であらかじめタイトルの記憶を行っておいてください。)



1 タイトルリスト モードにする (P.42 ページ)

F ボタンを押す

2 聞きたいCDを 選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

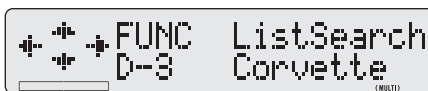
▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき

◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき



3 選んだCDを 再生する

▲ ボタンを押す



選んだCDが再生されます。(CDが切り換わる間、ディスク番号の点滅が止まります。)

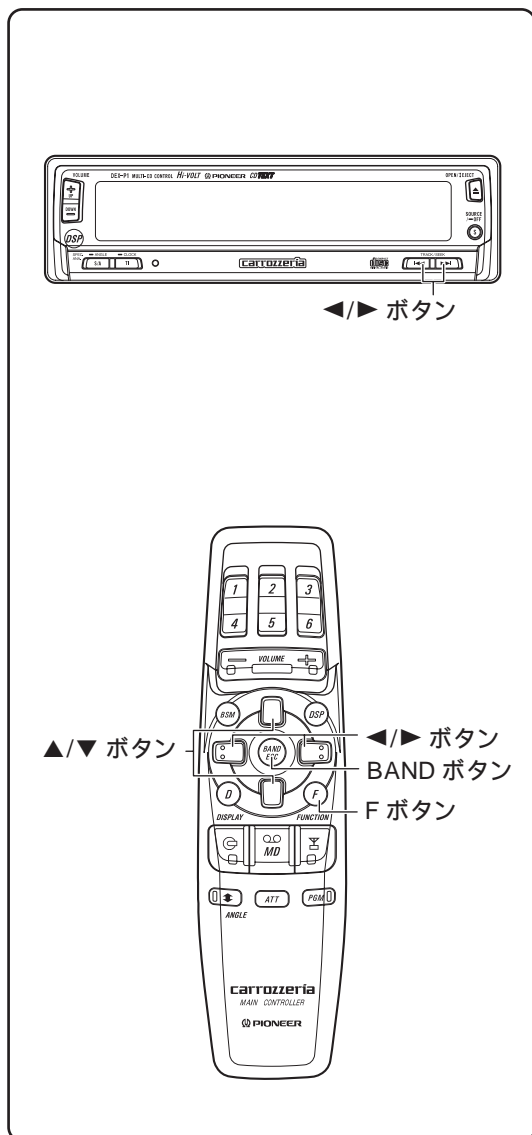
BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

タイトルの頭文字でCDをさがす (50枚)

“ABC” ディスクタイトルサーチ

CDのタイトルの頭文字で、聞きたいCDをさがすことができます。(CDのタイトルを記憶させる (P. 30 ページ) であらかじめタイトルの記憶を行っておいってください。)

チェック 50 連奏マルチCD プレーヤーの機能です。



1 “ABC” ディスクタイトルサーチモードにする (P. 42 ページ)

F ボタンを押す

2 タイトルの頭文字を選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次の文字を選ぶとき

▼ : 前の文字を選ぶとき



3 聞きたいタイトルを選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

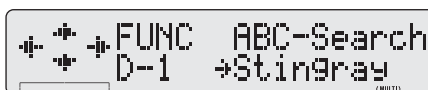
▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき

◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき



4 選んだタイトルのCDを再生する

▲ ボタンを押す



メモ

手順3の操作を解除したい場合は、▼ ボタンを押すと解除され手順2に戻ります。

選んだ頭文字のCDがないときは、“NO TITLE” が約8秒間、点滅表示されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

タイトルとグループの表示を切り換える

タイトル表示 / グループ表示

タイトル記憶 (P. 30 ページ) で記憶させたCDのタイトルとグループ (P. 52 ページ) の表示を切り換えることができます。

チェック 50 連奏マルチCD プレーヤーの機能です。

表示を切り換える

D ボタンを押す

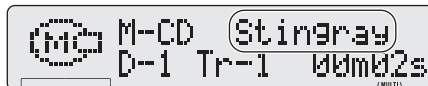
ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

タイトル表示

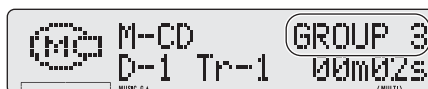
グループ表示 (50 枚)

タイトル表示に戻る

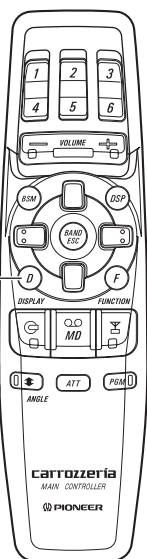
タイトル表示



グループ表示



D ボタン



マルチCDでCDを聞く

メモ

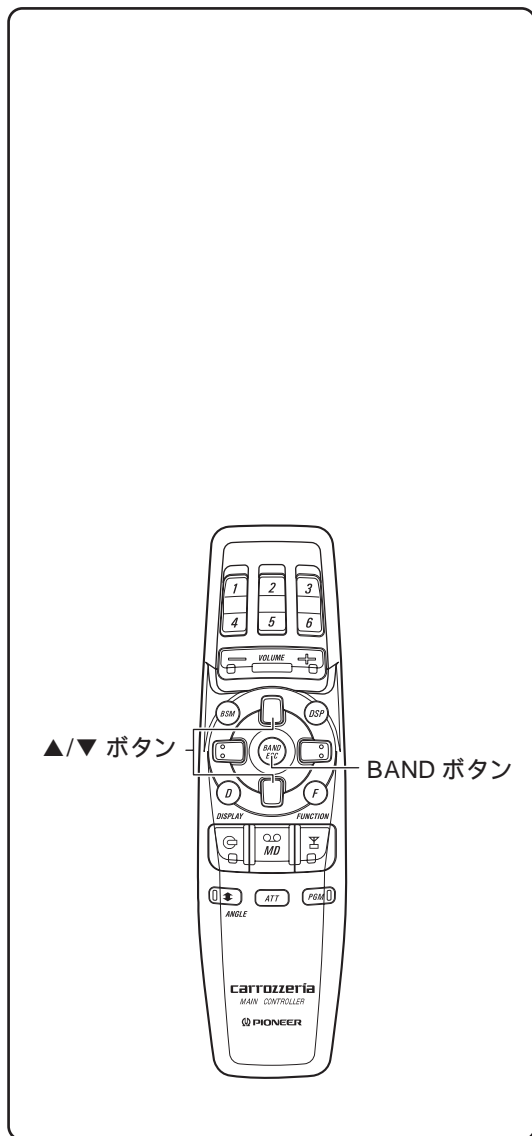
タイトルが入力されていないCDやグループ分けされていないCDで表示を切り換えると、“No Title”や“NO GROUP”が約4秒間、点滅表示されます。

選んだCDを取り出す (50枚)

CD イジェクト

選んだCDをマガジンからエクストラトレイに移して取り出すことができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



▲/▼ ボタン

BAND ボタン

1 取り出したいCDを再生する (18ページ)

▲ または ▼ ボタンを押す

2 CDをエクストラトレイに移動する

BAND ボタンを2秒以上押す



3 CDをエクストラトレイから取り出す

CDの取り出しかたについては、50連奏マルチCDプレーヤーの説明書をご覧ください。

メモ

すでにエクストラトレイにCDが入っているときは動作しません。

マルチCCDでCCDを聞く

DSP を使おう

リアルな音場を再現したり、音響特性を補正したりしてお好みのリスニング環境をつくることができます。

DSPについて

DSPをお使いになると、リアルな音場の再現と同時に、車内の音響特性をフラットに補正し、理想的なリスニング環境を創造することができます。

本機のDSPには、プロモードとスタンダードモードの2つのモードがあります。組み合わせるスピーカーシステムに合わせてどちらか一方のモードを選択して使用します。

動作モードについて

プロモード

高・中・低音域のそれぞれの音域(バンド)を専用のアンプとスピーカーで再生する3WAYマルチアンプ・マルチスピーカーシステムを構築することができます。

プロモードには、マルチアンプ・マルチスピーカーシステムに不可欠なネットワーク機能やタイムアライメント機能があり、各音域の設定条件を厳密にコントロールすることができます。

スタンダードモード

フロント、リアーの4スピーカーシステムまたはフロント、リアー、サブウーファァーの6スピーカーシステムを構築することができます。

共通の各機能について

音量バランス調節機能 (P.81ページ)

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

プロモードでは、左右の音量調節しかできません。

イコライザー機能 (P.78ページ)

車室内の音響特性をお好みに合わせて作成(補正)することができます。

ポジションセレクター機能 (P.66ページ)

座席位置や乗車人数に合わせて、音像定位を補正することができます。

ネットワーク機能 (P.72ページ)

各スピーカーユニットの再生周波数帯域やレベル、位相などを設定することができます。

ラウドネス機能 (P.82ページ)

小音量時の低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

SLA機能 (P.83ページ)

ソースを切り換えたときの各ソースの音量差をFMを基準に補正することができます。

プロモード専用の機能について

タイムアライメント機能 (P.68ページ)

高・中・低音域の各スピーカーユニットによって異なる乗車位置までの距離の差を補正することができます。

メモ

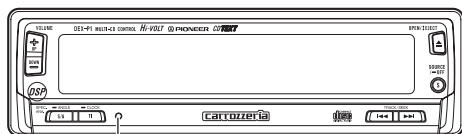
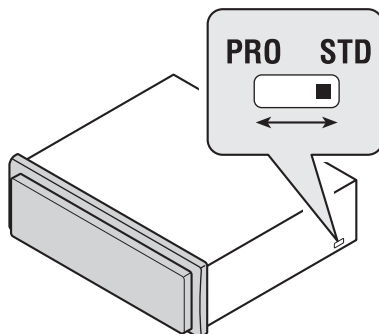
バッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機のマイコンは初期状態(ご購入時の状態)に戻ります。この場合、本機に記憶させたDSPの調整内容が全て消去されてしまいます。DSPの調整が終了したら、付属の記入シートに書き込んで大切に保管してください。

動作モードの切り換え

組み合わせるスピーカーシステムに合わせてモードを選択して使用します。

1 PRO/STDスイッチを切り換える

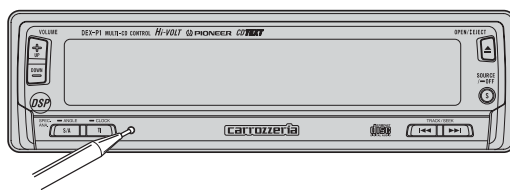
ペン先などで本機側面のPRO/STDスイッチを好みのモードに切り換えます



リセットボタン

2 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



音場と音質を調節する

メモ

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態（ご購入直後の状態）に戻ります。

本機を初期状態に戻すには (P. 97 ページ)

モードの切り換えかた

音場と音質を調節するときは、モードを切り換えて操作します。

DSP ファンクションモードの切り換え

DSP ファンクション モードを切り換える

DSP ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード (P. 81 ページ)

|

ニュアンスコントロール
モード* (P. 79 ページ)

|

13バンドグラフィックイコライザー
モード (P. 78 ページ)

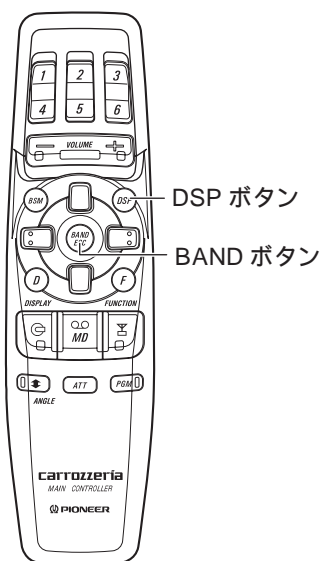
|

リスニングポジション
セレクターモード (P. 66 ページ)

|

音量バランス調節モードに戻る

DSP ファンクションモードを解除するには、
BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操
作しなかったときも、自動的に解除されます。)



メモ

* ニュアンスコントロールモード (P. 79 ページ) でイコライザーカーブのFlatを選択しているときは、13バンドグラフィックイコライザーモードには切り換わりません。

1

DSP 詳細設定 モードにする

DSP ボタンを 2 秒以上押す

2

DSP 詳細設定 モードを切り換える

DSP ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

ネットワーク調整モード (P. 72 ページ)

|

タイムアライメント調整モード
(プロモード) (P. 68 ページ)

|

ラウドネスモード (P. 82 ページ)

|

SLA モード* (P. 83 ページ)

|

ネットワーク調整モードに戻る

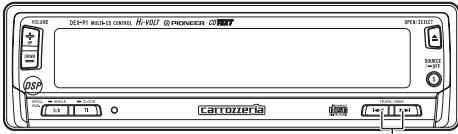
DSP 詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

メモ

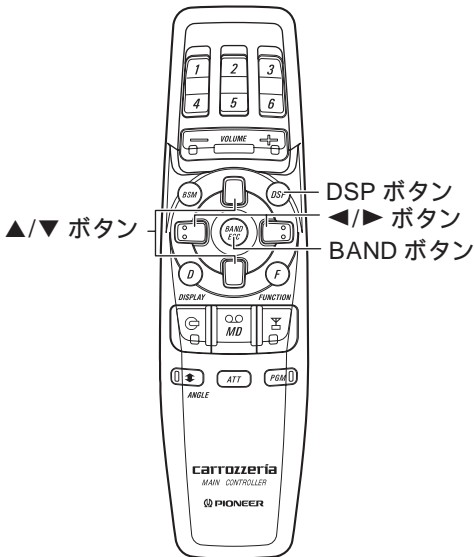
* ソースがFMの場合、SLA モードには切り換わりません。

音場の中心で聞く

乗車位置や人数に合わせて、聞く位置を選ぶことができます。



◀/▶ ボタン



ポジションインジケータについて
リスニングポジションセクターモードに切り換えなくても、現在のリスニングポジションの設定を確認することができます。

Front-Left



Front-Right



Front



All



1 リスニングポジションセクターモードにする (P. 64 ページ)

DSP ボタンを押す

乗車位置について

乗車位置は、次の中から選ぶことができます。

乗車位置の使い分け

Front	同乗者が助手席にいるとき。
All	同乗者が後部座席にいるとき。
Front-Right	右ハンドル車に運転者のみがいるとき。
Front-Left	左ハンドル車に運転者のみがいるとき。

プロモードでは、All を選択することはできません。

2 乗車位置を選ぶ

▲、▼、◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに ON/OFF します。

- ▲ : Front
- ▼ : All (スタンダードモード)
- ▶ : Front-Right
- ◀ : Front-Left



選んだ乗車位置が表示されます。

BAND ボタンを押して、DSP ファンクションモードを解除してください。

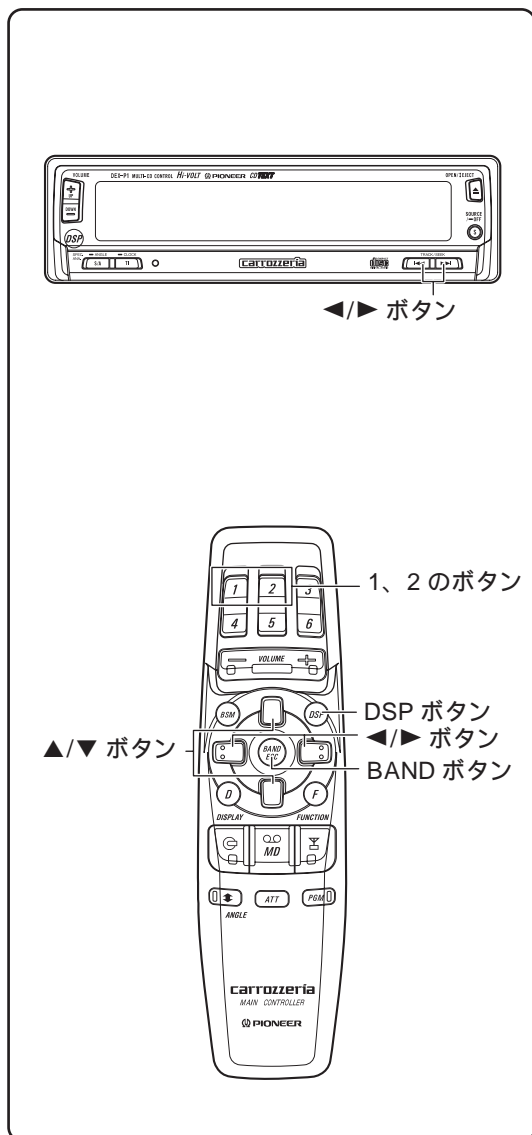
メモ

プロモードでは、▼ ボタンを押すとリスニングポジションがキャンセルされます。

遅延時間を調整する (プロモード)

各スピーカーユニットからの音の到達時間差を補正することで、音像の定位や全体的なバランスを調節することができます。

チェック プロモードの機能です。



1 タイムアライメント調整モードにする (P.65)

DSP ボタンを2秒以上押してから、DSP ボタンを押す

2 運転席を選択する

1 のボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

右ハンドル (Front-Right)

左ハンドル (Front-Left)

右ハンドルに戻る

DSP T.Alignment
Front-Right

右ハンドルまたは左ハンドルの選択を行ってください。この操作が正しく行われていないと、手順4の距離の調整は行えません。

メモ

各スピーカーユニットからの距離は乗車位置によって異なりますが、一度運転席に対して設定を行っておくと、リスニングポジションセレクター (P.66) でリスニングポジションを切り換えるだけで、各乗車位置に対する最適な遅延時間が自動的に設定されます。

3 距離の単位を選択する

2のボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

センチメートル (cm)
|
インチ
|
センチメートルに戻る



4 スピーカーユニットの距離を調整する

調整するスピーカーユニットを選ぶとき
◀ または ▶ ボタンを押す



次のスピーカーユニットがあります。
右側ハイレンジスピーカー (High-Rch)
左側ハイレンジスピーカー (High-Lch)
右側ミドルレンジスピーカー (Mid-Rch)
左側ミドルレンジスピーカー (Mid-Lch)
右側ローレンジスピーカー (Low-Rch)
左側ローレンジスピーカー (Low-Lch)

サブウーファーを1本しか接続していない場合は、右側および左側ローレンジスピーカーの距離は同じ距離を設定してください。

距離を調整するとき

▲ または ▼ ボタンを押す



調整できる距離は、0 ~ 400 cm です。(インチ表示の場合は、0.0 ~ 160.0 です。)

BAND ボタンを押して、DSP 詳細設定モードを解除してください。

ネットワークを調整する前に

ネットワークについて

ネットワークをお使いになると、各スピーカーユニットの特性に合わせた厳密な設定をすることができます。

ネットワーク機能は、次の5つの項目を調整できます。

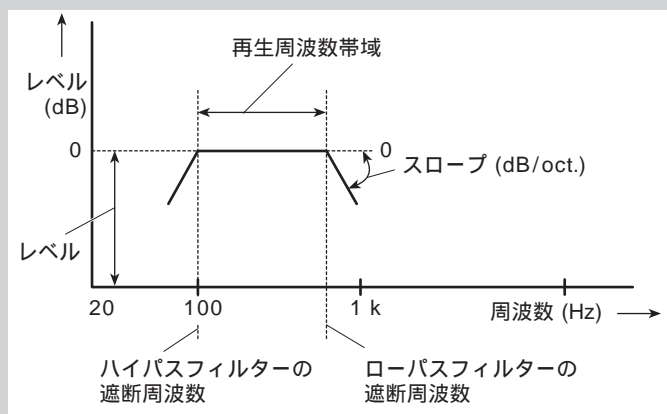
再生周波数帯域

レベル

スロープ

位相

サブウーファースのモノラル/ステレオ切り換え (プロモード)



再生周波数帯域について

ハイパスフィルター (H.P.F) およびローパスフィルター (L.P.F) の遮断周波数を調整することにより、各スピーカーユニットの再生周波数を設定することができます。

H.P.Fは、設定した周波数から下の音域 (低域) をカットして、高域を通すフィルターです。

L.P.Fは、設定した周波数から上の音域 (高域) をカットして、低域を通すフィルターです。

スロープについて

H.P.F.、L.P.F.のスロープ (フィルター特性の減衰の傾き) を調整することにより、スピーカーユニット間の音のつながりを調整することができます。

スロープとは、周波数が1オクターブ高く (低く) なったときに、信号が何 dB 減衰するかを表す値です。(単位: dB/oct.) 特性上の傾きを大きくすると、信号が減衰する度合いが大きくなります。

レベルについて

各スピーカーユニットの再生レベルを補正することができます。

位相について

各スピーカーユニット（スタンダードモードの場合はサブウーファーのみ）の入力信号に対する位相（ノーマル（正相）かリバース（逆相））を切り換えることができます。スピーカーユニット間の音のつながりが悪いときは、位相を切り換えてみてください。音のつながりが良くなる場合があります。

サブウーファーのモノラル/ステレオ切り換えについて（プロモード）

サブウーファー（ローレンジスピーカー）の出力方法（モノラルかステレオ）を切り換えることができます。

ネットワーク調整のポイント

遮断周波数のポイント（プロモード）

サブウーファーをリアトレイに設置した場合、“Low-NW”の遮断周波数を高く設定すると、低音が分離して後ろから聞こえてくるようになります。“Low-NW”の遮断周波数は100 Hz以下に設定することをおすすめします。

ミドルやハイレンジに使用するスピーカーは、サブウーファーと比べて耐入力が高く設定されているのが一般的です。“Mid_HPF-NW”や“High-NW”の遮断周波数を必要以上に低く設定すると、低音域の強い信号が入力されてスピーカーを破損する恐れがありますので、ご注意ください。

遮断周波数のポイント（スタンダードモード）

サブウーファーをリアトレイに設置した場合、“Sub-W-NW”の遮断周波数を高く設定すると、低音が分離して後ろから聞こえてくるようになります。“Sub-W-NW”の遮断周波数は100 Hz以下に設定することをおすすめします。

レベル調整のポイント（プロモード）

中音域には音の周波数特性上、多くの楽器の基本周波数が含まれています。最初にミドルレンジのレベル調整を行い、ハイレンジ、サブウーファーの順で調整を行うことをおすすめします。

スロープ調整のポイント

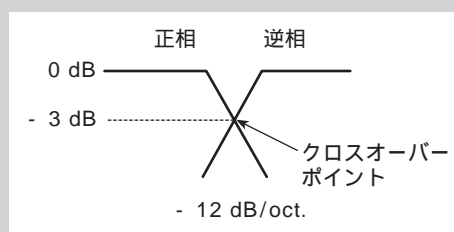
スロープの絶対値を小さく（傾きをゆるやかに）すると、再生周波数帯域が隣り合っているスピーカーユニットとの干渉によって周波数特性が影響を受けやすくなります。

スロープの絶対値を大きく（傾きを急に）すると、スピーカーユニット間の音のつながりが悪くなり音が分離して聞こえるようになります。

スロープを0 dB/oct. に設定すると、オーディオ信号はそのフィルター回路をパスする（通過しない）ので、そのフィルター回路の効果はなくなります。

位相調整のポイント

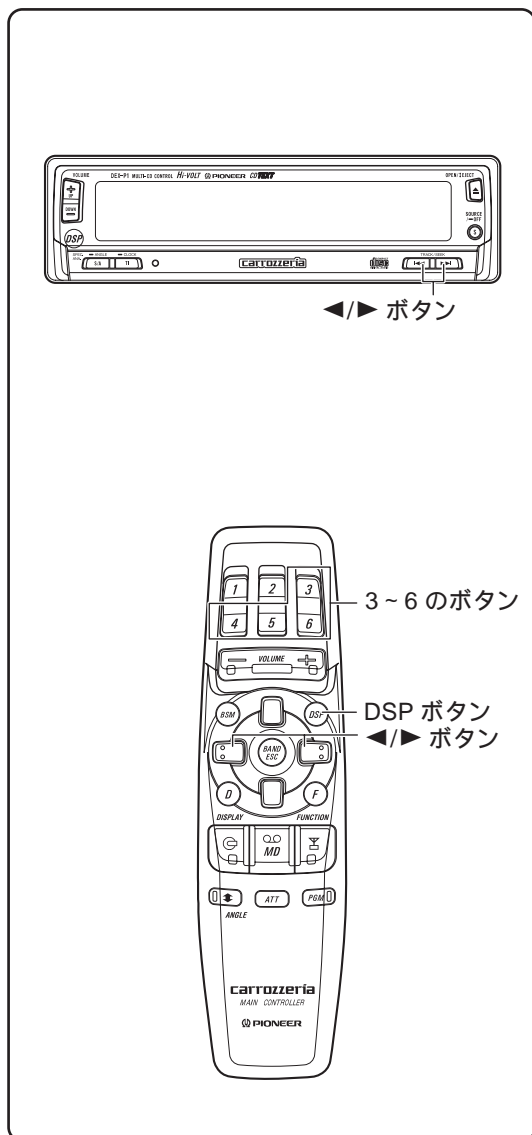
クロスオーバーポイントでのスロープの設定値を両側のフィルター共に - 12 dB/oct. に設定したときは、フィルターの遮断周波数において位相が180°反転します。この場合は、逆相に設定した方が音のつながりが良くなります。



ネットワークを調整する

各スピーカーユニットの再生周波数帯域やレベル、位相などを調整することで、各スピーカーユニットの特性に合わせた厳密な設定をすることができます。

チェック プロモードの場合、タイムアライメント調整を先に行うことをお勧めします。



1 ネットワーク調整 モードにする (P. 65 ページ)

DSP ボタンを2秒以上押してから、DSP ボタンを押す

2 調整するフィルターを 選択する

3 ~ 6 のボタンを押す

×M× DSP Mid_HPF-NW
80Hz : 0dB

プロモード

ボタン	フィルター
3	Low-NW
4	Mid_HPF-NW
5	Mid_LPF-NW
6	High-NW

スタンダードモード

ボタン	フィルター
4	Sub-W-NW
5	Front-NW
6	Rear-NW

スタンダードモードでは、3のボタンを押しても、何も切り換わりません。

プロモードでは、サブウーファーのフィルター (Low-NW) のときに、サブウーファー出力の切り換え (P. 76 ページ) でモノラル/ステレオを切り換えることができます。

3 調整するフィルター以外にミュートをかける

3 ~ 6 のボタンを2秒以上押す



* Mute : On

* 選択しているスピーカーユニット (フィルター) にミュートをかけると、“Mute : On”が表示され調整ができなくなります。

各スピーカーユニット (フィルター) ごとに、ミュートをかけることができます。ミュートをかけると、そのスピーカーユニットの音が出られなくなります。必要に応じてON/OFFしながら、ネットワークの調整を行ってください。

4 遮断周波数を調整する

◀ または ▶ ボタンを押す



プロモード

フィルター	遮断周波数
Low-NW	40、50、63、80、100、125、160、200、250 Hz
Mid_HPF-NW	40、50、63、80、100、125、160、200、250 Hz
Mid_LPF-NW	2、2.5、3.15、4、5、6.3、8、12.5 kHz
High-NW	2、2.5、3.15、4、5、6.3、8、12.5 kHz

スタンダードモード

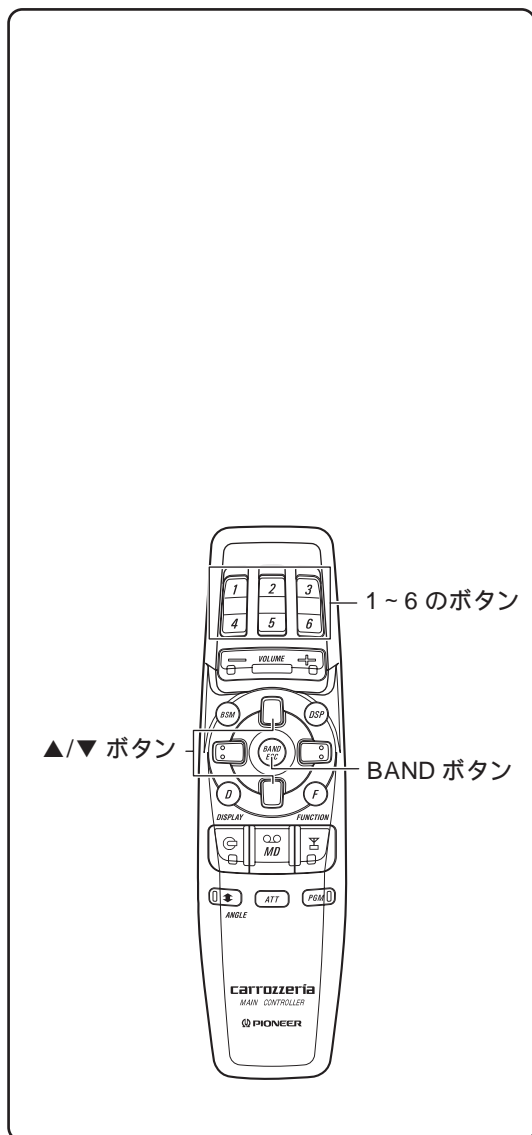
フィルター	遮断周波数
Sub-W-NW	50、63、80、100、125、160、200 Hz
Front-NW	50、80、125、200 Hz
Rear-NW	50、80、125、200 Hz

5 他のフィルターの遮断周波数を調整する

手順2 ~ 4 を繰り返す

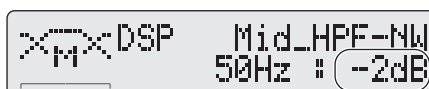
各スピーカーユニットの再生周波数帯域とクロスオーバー周波数が適当な位置にくるように各フィルターを調整してください。

ネットワークを調整する (つづき)



6 レベルを調整する

▲または▼ボタンを押す



プロモード

フィルター	レベル
Low-NW	- 24 ~ + 6
Mid_HPF-NW	- 24 ~ 0
Mid_LPF-NW	- 24 ~ 0
High-NW	- 24 ~ + 6

スタンダードモード

フィルター	レベル
Sub-W-NW	- 24 ~ + 6
Front-NW	- 24 ~ 0
Rear-NW	- 24 ~ 0

7 他のフィルターのレベルを調整する

手順2、3、6を繰り返す

全体的にバランスが良くなるように、各スピーカーユニット(フィルター)のレベルを調整してください。

8 スロープを調整する

1のボタンを押す

ボタンを押すごとに下表のように切り換わります。

```

┌──────────┐
│ DSP      │
│ Lo.      │
│ Slope:-12dB/oct │
└──────────┘
  
```

プロモード

フィルター	スロープ
Low-NW	- 12 → - 18 → - 24 → - 30 → - 36 dB/oct.
Mid_HPF-NW	0 → - 6 → - 12 → - 18 → - 24 dB/oct.
Mid_LPF-NW	0 → - 6 → - 12 → - 18 → - 24 dB/oct.
High-NW	- 6 → - 12 → - 18 → - 24 dB/oct.

スタンダードモード

フィルター	スロープ
Sub-W-NW	- 6 → - 12 → - 18 dB/oct.
Front-NW	0 → - 6 → - 12 dB/oct.
Rear-NW	0 → - 6 → - 12 dB/oct.

9 他のフィルターのスロープを調整する

手順2、3、8を繰り返す

再生周波数帯域が隣り合っているスピーカーユニットのつながりを考慮して、各フィルターのスロープを調整してください。

10 位相を調整する

2のボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

正相 (Normal)

|

逆相 (Reverse)

|

正相 (Normal) に戻る

```

┌──────────┐
│ DSP      │
│ Phase:Normal │
└──────────┘
  
```

スタンダードモードでは、フロントスピーカー “Front-NW” とリアスピーカー “Rear-NW” の位相は切り換えることができません。サブウーファー “Sub-W-NW” の位相を切り換えてください。

11 他のフィルターの位相を調整する

手順2、3、10を繰り返す

再生周波数帯域が隣り合っているスピーカーユニットのつながりが良いほうに、各スピーカーユニット(フィルター)の位相を調整してください。

|

BAND ボタンを押して、DSP 詳細設定モードを解除してください。

サブウーファー出力の切り換え (プロモード)

本機のサブウーファー出力は、モノラルとステレオを切り換えて使用することができます。

チェック プロモードの機能です。

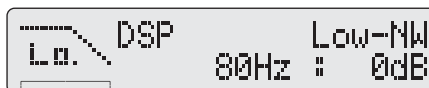


1 ネットワーク調整 モードにする (P. 65 ページ)

DSP ボタンを2秒以上押してから、DSP ボタンを押す

2 サブウーファーの フィルターを選択する

3のボタンを押す



3 サブウーファーの出力 方法を切り換える

3のボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

ステレオ (Stereo)

|

モノラル (Mono)

|

ステレオに戻る

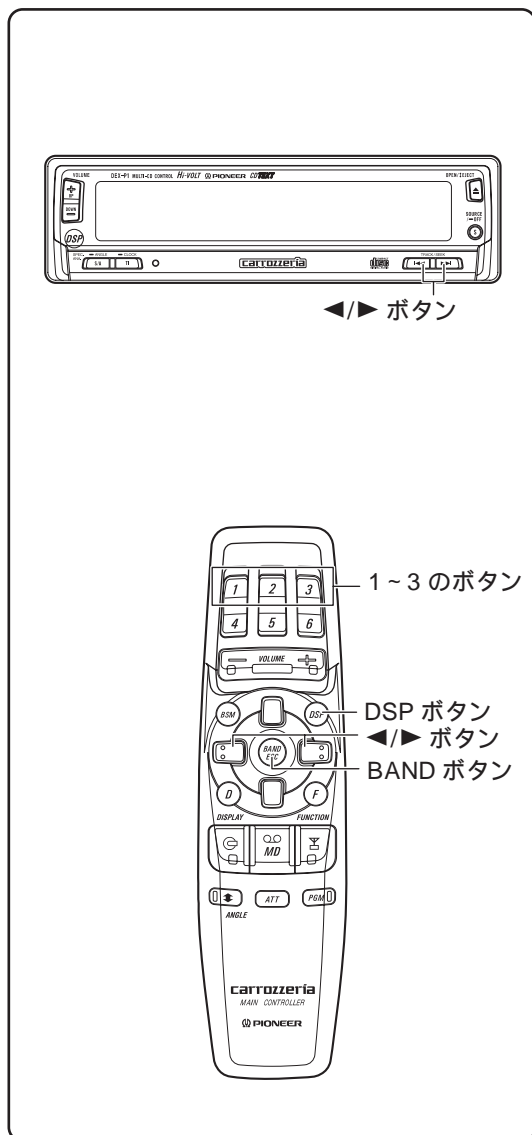


|

BAND ボタンを押して、DSP 詳細設定モードを解除してください。

イコライザーカーブを呼び出す

ソースごとにイコライザーカーブを選ぶことができます。(内蔵CDとマルチCDは自動的に同じ設定になります。)



1 ニュアンスコントロールモードにする (☞ 64ページ)

DSP ボタンを押す

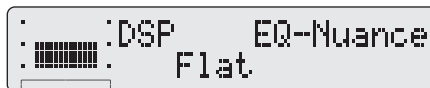
2 イコライザーカーブを呼び出す

イコライザーカーブを直接呼び出す

1 ~ 3 のボタンの1つを押す

イコライザーカーブを順番に呼び出す

◀または▶ ボタンを押す



次のようなイコライザーカーブがあります。

Flat Custom1 Custom2

BAND ボタンを押して、DSP ファンクションモードを解除してください。

イコライザーカーブについて

本機のイコライザーカーブには、自分で設定できるユーザーカーブ (Custom1、2) とその効果を確認するためのイコライザーカーブ (Flat) があります。

フラット (1 のボタン)

何の補正もしていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、効果を確認するのに使うと便利です。

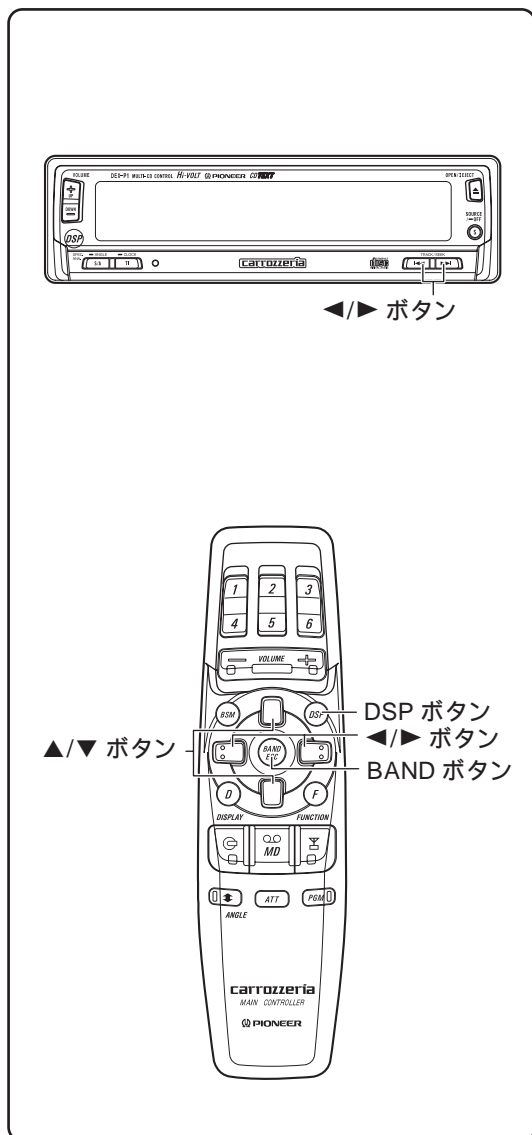
ユーザーカーブ (2、3 のボタン)

ユーザーカーブ (Custom 1、2) は、ニュアンスコントロール (☞ 79ページ) や13バンドグラフィックイコライザー (☞ 次ページ) により、イコライザーカーブを好みに調節して記憶させることができます。

イコライザーカーブを作成する

13バンドグラフィックイコライザー

お好みに合わせてイコライザーカーブを作成することができます。また、作成したイコライザーカーブを調整することもできます。



1 ユーザーカーブを呼び出す (80 前ページ)

フラットを選択しているときは、DSP ボタンを押しても13バンドグラフィックイコライザーモードには切り換わりません。

2 13バンドグラフィックイコライザーモードにする (85 64ページ)

DSP ボタンを押す

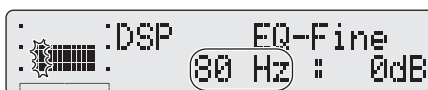
3 イコライザーカーブを調整する

調整するバンドを選ぶとき

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 右に移動させるとき

◀ : 左に移動させるとき

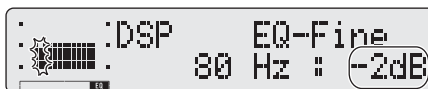


バンドを調整するとき

▲または▼ ボタンを押す

▲ : 強めるとき

▼ : 弱めるとき



調整したカーブは自動的に記憶されます。

BAND ボタンを押して、DSP ファンクションモードを解除してください。

メモ

作成したイコライザーカーブを元に新しいイコライザーカーブを作成するときに元のカーブを残しておきたい場合は、イコライザーカーブを記憶させる (80 80ページ) でもう一つのユーザーカーブに元となるイコライザーカーブを記憶させてから調整を行ってください。

13バンドグラフィックイコライザーモードのときに1~3のボタンでイコライザーカーブを呼び出すと、ニュアンスコントロールモードに切り換わります。

イコライザーカーブを大まかに補正する

ニュアンスコントロール

作成したイコライザーカーブの効果をお好みに合わせて大まかに強めたり弱めたりすることができます。

チェック 13バンドグラフィックイコライザーで作成したユーザーカーブを補正する機能です。

1 ニュアンスコントロールモードにする (P. 64ページ)

DSP ボタンを押す

2 ユーザーカーブを呼び出す (P. 77ページ)

13バンドグラフィックイコライザーモードで作成したユーザーカーブにしかニュアンスコントロールを行うことはできません。

3 イコライザーカーブを補正する

▲または▼ボタンを押す

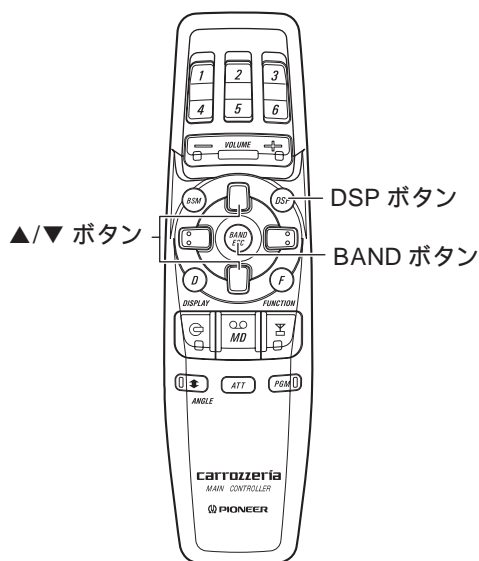
▲ : 強めるとき

▼ : 弱めるとき



補正したカーブは自動的に記憶されます。

BAND ボタンを押して、DSP ファンクションモードを解除してください。



イコライザーカーブを記憶させる

ユーザーカーブの記憶

ユーザーカーブは、調整や補正を行うと自動的に記憶されます。作成したカーブを元にもう一つのカーブを作成する場合、元のカーブを別のユーザーカーブに記憶させてから新しいカーブを作成することで元のカーブを残しながら新しいカーブを作成することができます。

1 記憶させたいユーザーカーブを呼び出す (P. 77ページ)

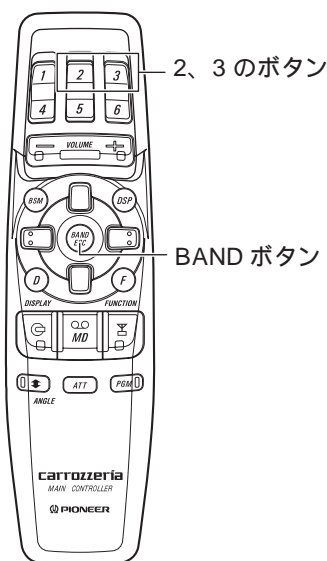
2 イコライザーカーブを記憶させる

2 または3 のボタンを2 秒以上押す

呼び出しているカーブと別のボタンを押してください。



BAND ボタンを押して、DSP ファンクションモードを解除してください。

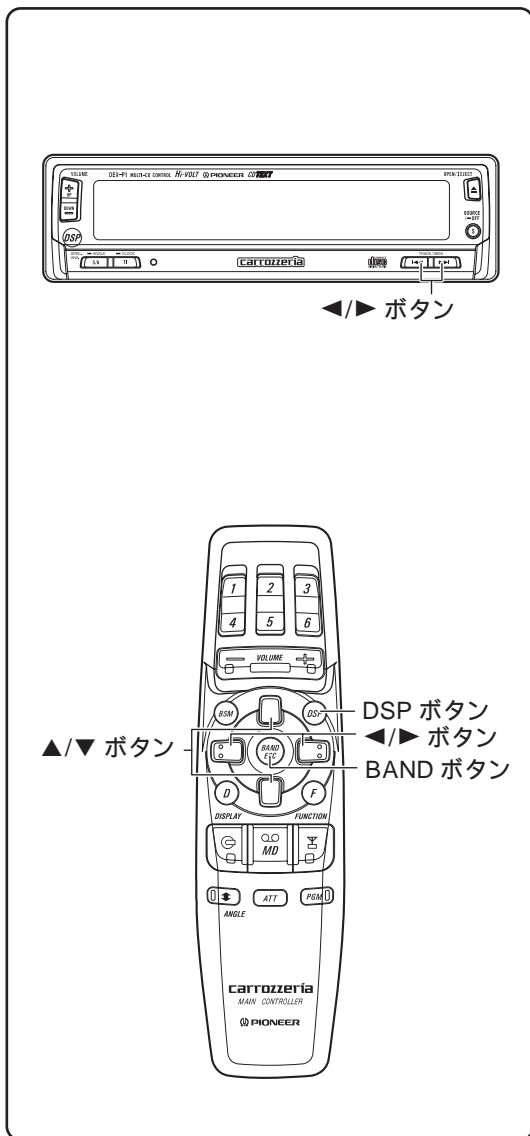


メモ

記憶させたユーザーカーブを呼び出すには (P. 77ページ)

音量バランスを調節する

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。(プロモードでは、左右の調節しかできません。) また、各ポジションごとに音量バランスの設定を行うことができます。



1 音量バランス調節モードにする (P. 64 ページ)

DSP ボタンを押す

2 音量バランスを調節する

前後を調節する (スタンダードモード)

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 前を強めるとき

▼ : 後ろを強めるとき



前後のバランスはF25 ~ R25の範囲で調節できます。

2スピーカーシステムの場合はフェーダーは使用しませんので、“Fader : 0”に設定してください。

左右を調節する

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 右を強めるとき

◀ : 左を強めるとき



左右のバランスはL25 ~ R25の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、DSP ファンクションモードを解除してください。

小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1

ラウドネス モードにする (P. 65 ページ)

DSP ボタンを2秒以上押してから、
DSP ボタンを押す

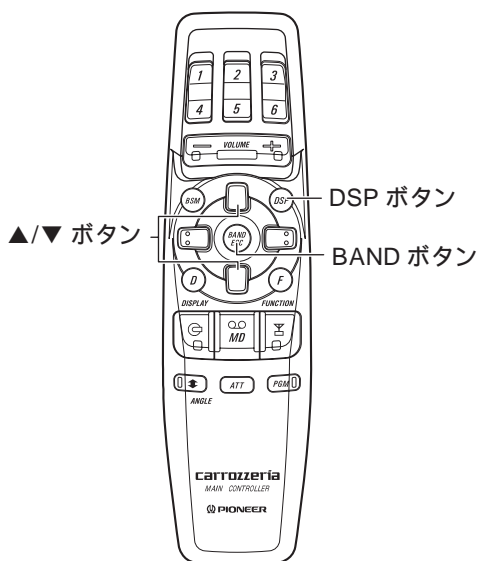
2

ラウドネスを ONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



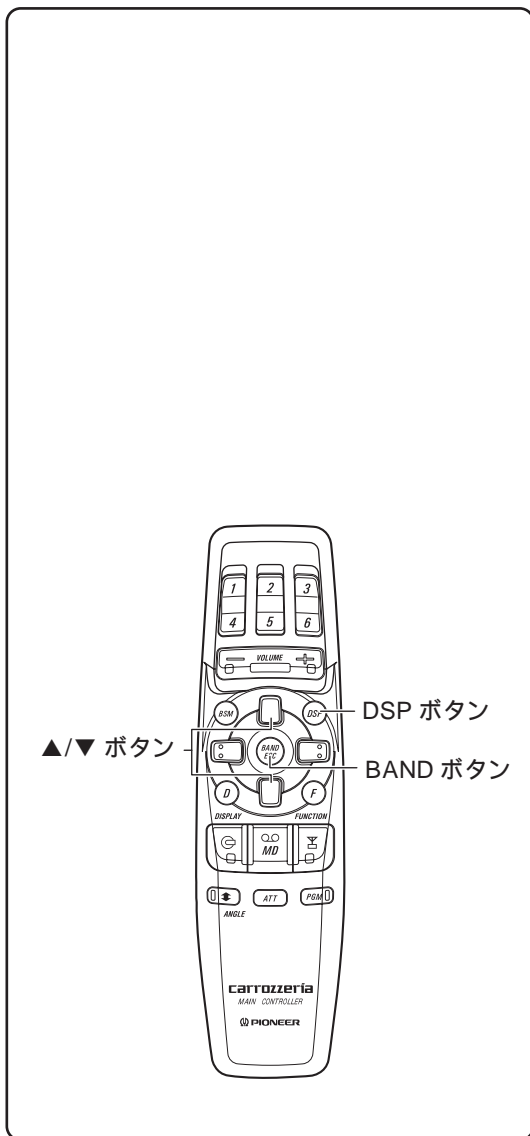
BAND ボタンを押して、DSP 詳細設定モード
を解除してください。



各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量にそろえることができます。



1 FM 放送を受信し、FM の音量を確かめる (☞ 16 ページ)

2 調節したいソースに切り換える (☞ 12 ページ)

3 SLA モードにする (☞ 65 ページ)

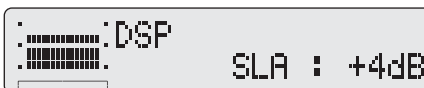
DSP ボタンを 2 秒以上押してから、DSP ボタンを押す

4 レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



レベルは-8 ~ +8 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、DSP 詳細設定モードを解除してください。

音場と音質を調節する

メモ

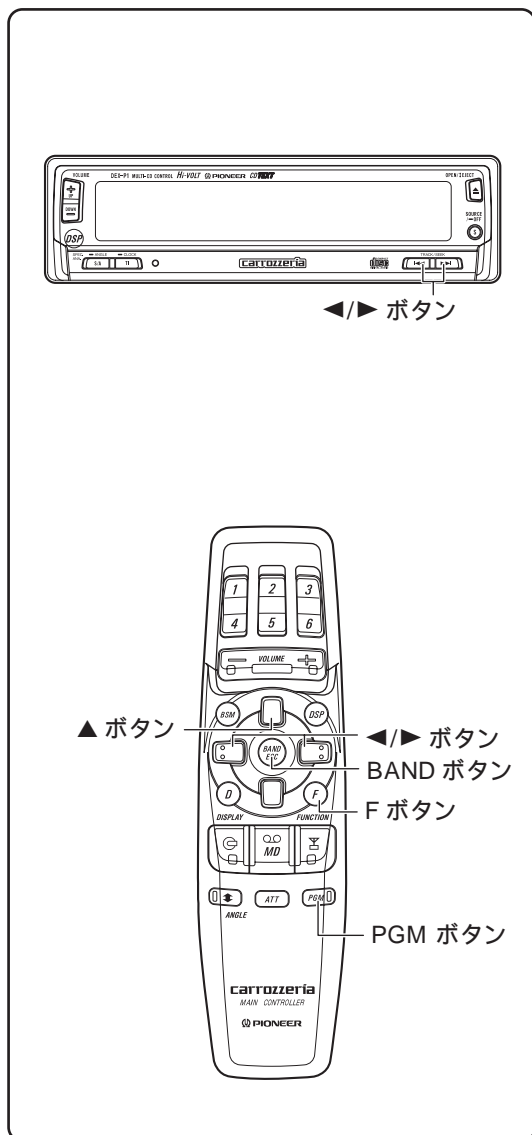
SLA とは Source Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。

FM の音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、ソースが FM の場合、SLA モードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、CD、MD、AUX (外部機器) のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵 CD とマルチ CD、1 枚型 MD とマルチ MD および AM と交通情報 (☞ 86 ページ) は同じ設定になります。

よく使う機能を学習させる

よく使う機能をソースごとに、PGMボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。



1 記憶させたいソースに切り換える (12ページ)

2 プログラムファンクション設定モードにする

F ボタンを2秒以上押してから、F ボタンを押す

3 学習させたい機能を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

例) 内蔵CDの場合



4 選んだ機能を学習させる

▲ ボタンを押す



点滅が止まり、選んだ機能が学習されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

5 学習させた機能を操作する

PGM ボタンを押す

学習させた機能により、操作方法が以下のようになります。

内蔵CD

学習できる機能	押す	2秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	-----
リピート	ON/OFF	-----
ランダム	ON/OFF	-----

ラジオ

学習できる機能	押す	2秒以上押す
BSM	OFF	ON

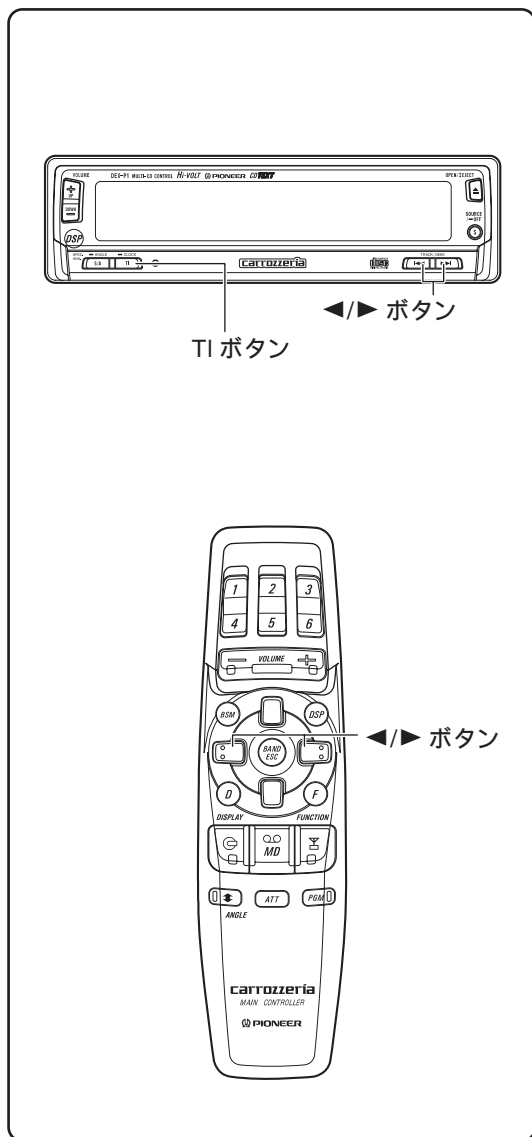
ラジオでは、初期設定のBSM以外の機能を学習することはできません。

マルチCD

学習できる機能	押す	2秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	-----
リピート	切り換え	-----
ランダム	ON/OFF	-----
タイトルリスト	タイトルリスト モードになる	-----
ITS	ITS記憶	ITS再生ON/OFF

交通情報を受信する

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。



1 交通情報を受信する

TI ボタンを押す

TI Traffic Info.
1620 KHz

AM 1,620 kHzの交通情報を受信します。

2 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 1,629 kHzにするとき

◀ : 1,620 kHzにするとき

TI Traffic Info.
1629 KHz

3 交通情報の受信をやめる

TI ボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

瞬時に音量を 小さくする

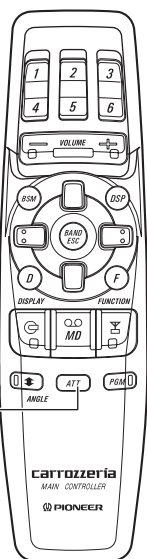
ATTボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。

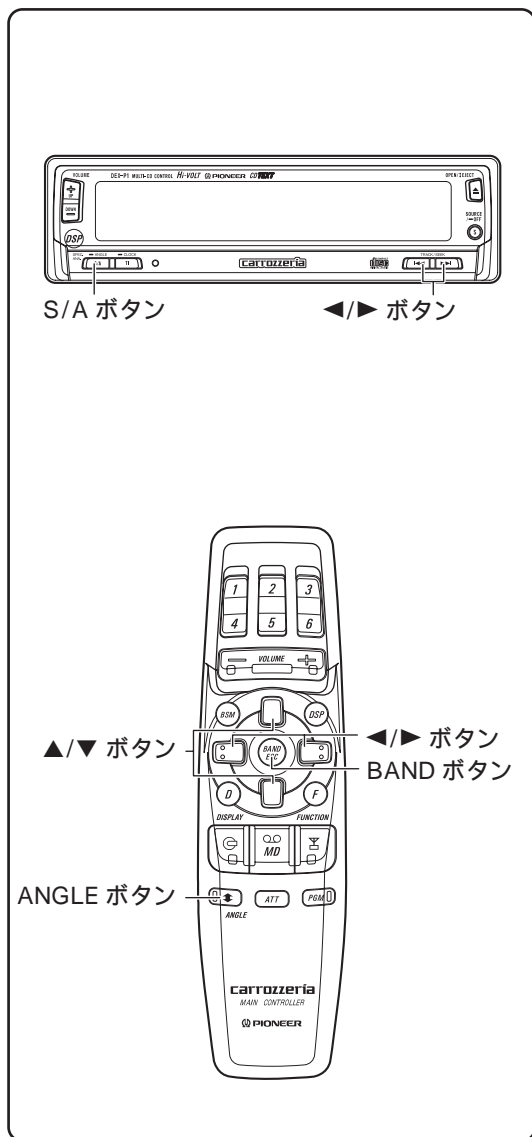
ATT ボタン



ディスプレイを見やすくする

アングル/コントラスト調節

本機のフロントパネルの角度とディスプレイのコントラストを調節することでディスプレイを見やすくできます。



1 角度・コントラスト調節モードにする

ANGLE ボタンを押す (または S/A ボタンを 2 秒以上押す)

2 フロントパネルの角度を調節する

▼ ボタンを押す



角度は、0 ~ 4 の範囲で調節できます。

角度調節中に ▲ ボタンを押すと、角度 0 に戻ります。

3 ディスプレイのコントラストを調節する

◀ または ▶ ボタンを押す



コントラストは、- 7 ~ 7 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、角度・コントラスト調節モードを解除してください。

メモ

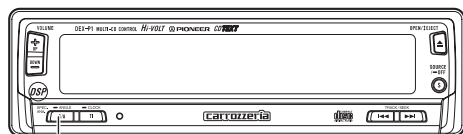
メインコントローラーの取り付け位置によっては、フロントパネルの角度調節を行うと、メインコントローラーでの操作が効かないことがあります。このようなときは、メインコントローラーを本機に近づけて操作してください。

角度の調節は、手動で行わないでください。フロントパネルに強い力が加わると、故障することがあります。

フロントパネルの角度を調節して使用している場合、イグニッションスイッチの ON/OFF の数秒後に自動でフロントパネルが動きます。このとき手、指を挟まれる恐れがありますので、フロントパネルに手、指を近づけないでください。また、フロントパネルの開閉中も同様に手・指を近づけないでください。

スペアナ・ソース表示の切り換え

ソース表示部をスペアナ表示に切り換えることができます。

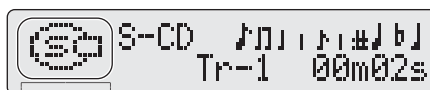


S/A ボタン

表示を 切り換える

S/A ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



ソース表示

|

電波状態表示*

|

スペアナ・パターン1

|

スペアナ・パターン2

|

スペアナ・パターン3

|

スペアナ・パターン4

|

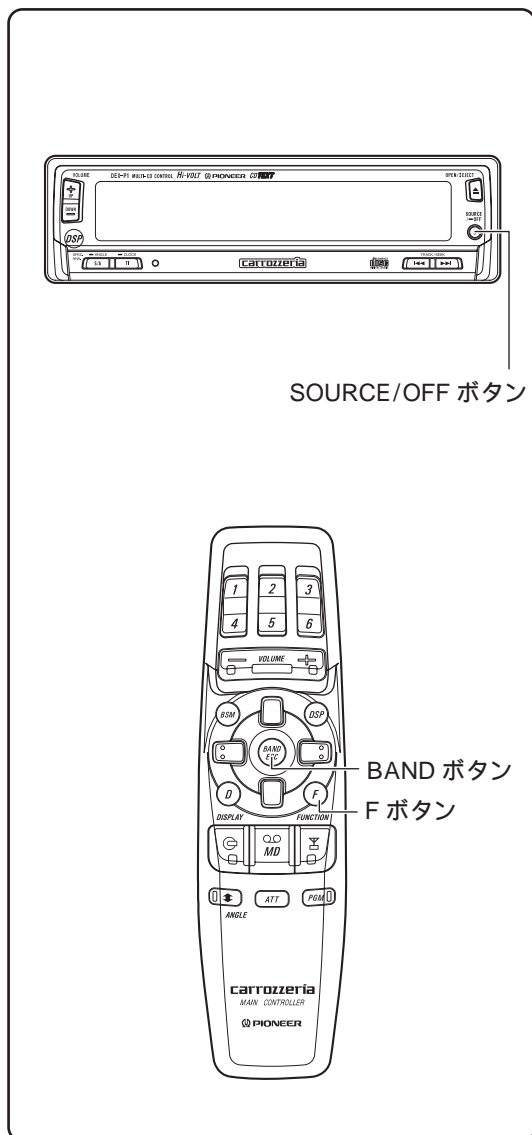
ソース表示に戻る

メモ

* 電波状態表示は、ラジオ専用の表示です。他のソースのときは、電波状態表示には切り換わりません。

初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。



1 電源を OFF にする (☞ 12ページ)

SOURCE/OFF ボタンを1秒以上押す

2 初期設定モードにする

電源がOFFのときに、F ボタンを2秒以上押す

3 初期設定モードを切り換える

F ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

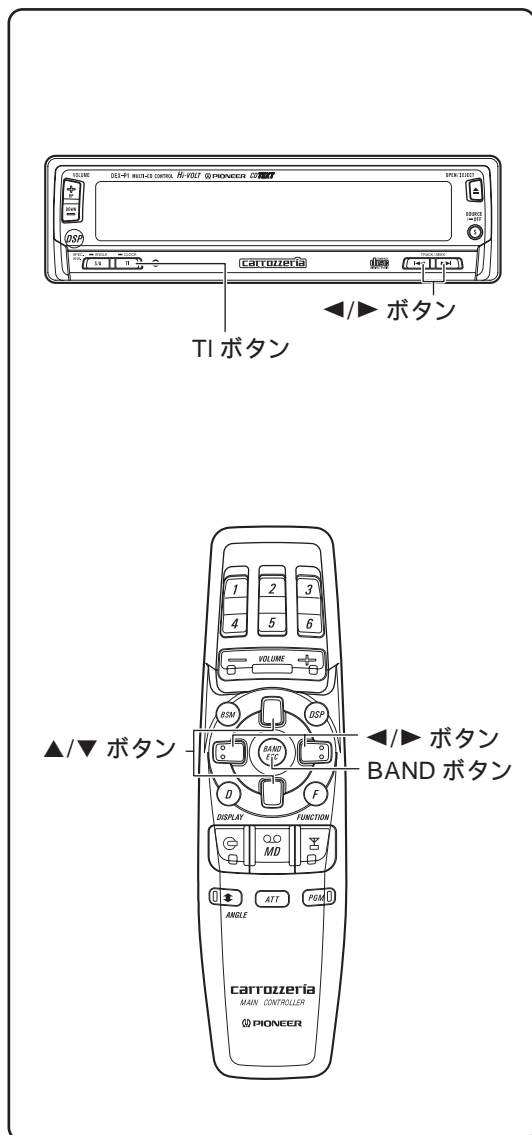
- 時計モード (☞ 次ページ)
- |
- AUX (外部機器) モード (☞ 92ページ)
- |
- オートアンテナモード (☞ 93ページ)
- |
- ディマーモード (☞ 94ページ)
- |
- センス切り換えモード (☞ 95ページ)
- |
- エンターテインメント表示
モード (☞ 96ページ)
- |
- 時計設定モードに戻る

初期設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(解除すると電源がOFFになります。)

時計を合わせる・表示させる

時計合わせ/時計表示

時計を合わせることができます。



1 時計モードにする (☞ 前ページ)

2 時刻を合わせる

「時」、「分」を切り換えるとき

◀ または ▶ ボタンを押す

時刻を合わせるとき

▲ または ▼ ボタンを押す



「分」を切り換えたときから、秒のカウントが始まります。

BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 電源をONにする (☞ 12ページ)

4 時計を表示する

TI ボタンを2秒以上押す

ボタンを2秒以上押すごとにON/OFFします。



メモ

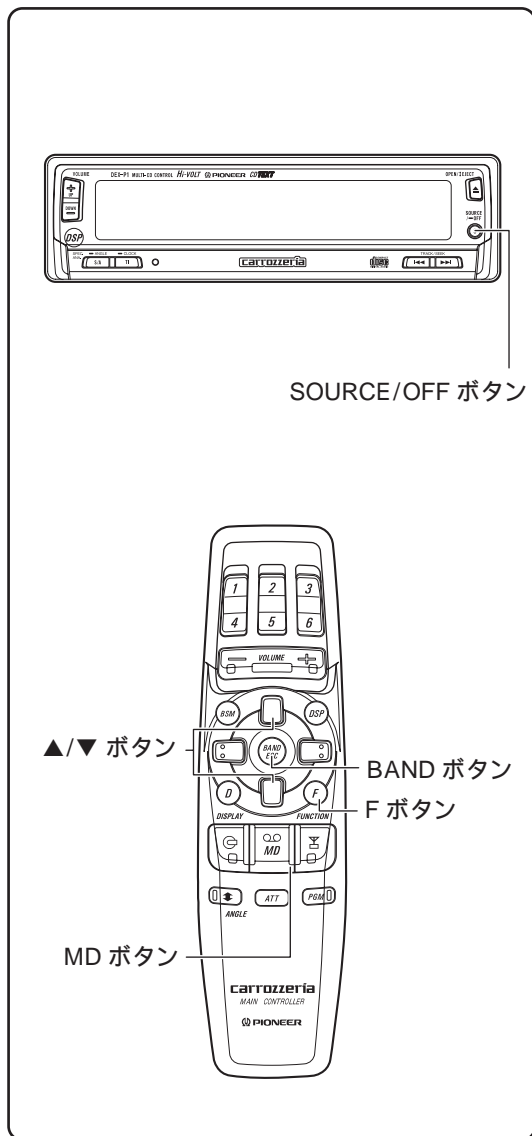
時計表示のときに何か操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約25秒間で時計表示に戻ります。

その他の機能と付録

外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

本機に DAT や VTR などの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。



外部機器との接続について

別売の RCA/IP-BUS インターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA 出力のある DAT や VTR を、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUS インターコネクターの説明書をご覧ください。

1 AUX (外部機器) モードにする (☞ 90 ページ)

2 AUX (外部機器) の設定を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



3 ソースを AUX にする (☞ 12 ページ)

SOURCE/OFF または MD ボタンを押す



ソースを AUX に切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

4 外部機器の名称入力モードにする

F ボタンを 2 秒以上押す



5 外部機器の名称を入力し、記憶させる (☞ 30 ページ)

CD のタイトル入力の手順 3 ~ 6 を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。“AUX” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

テレビのときにオートアンテナをのびす

オートアンテナの設定

パイオニア製のテレビ (7型ワイドAVシステムTV「AVX-P707W」など) を接続した場合、ソースをテレビにしたときも、車に装備されているオートアンテナをのびすことができます。

1 オートアンテナ
モードにする (P.90 ページ)

2 オートアンテナの
設定をONにする

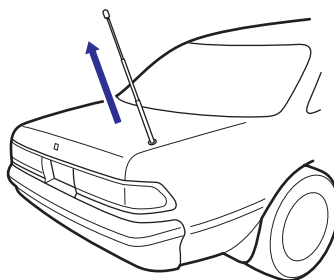
▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)

```
+ ON Setup  
+ OFF Auto ANT.:On
```

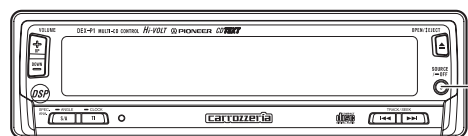
BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースを
テレビにする (P.12 ページ)

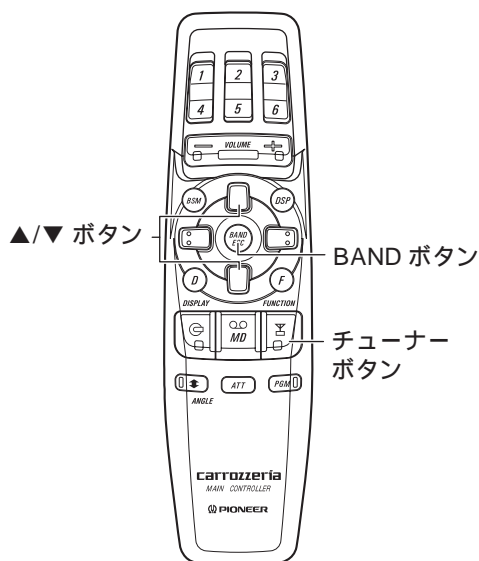
SOURCE/OFF またはチューナーボタン
を押す



オートアンテナがのびるようになります。



SOURCE/OFF ボタン



オートアンテナの設定について

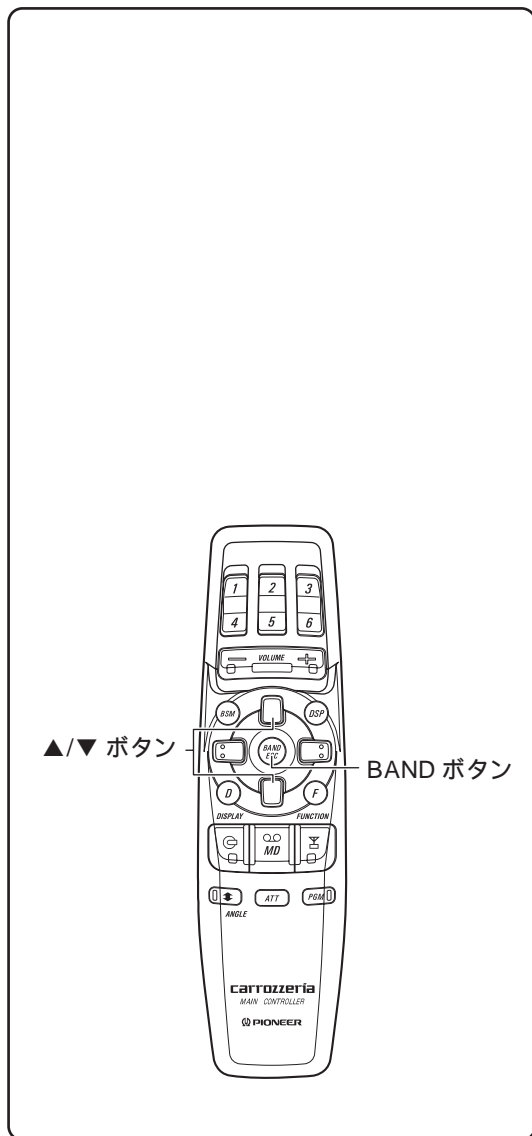
設定がOFFのときは、ソースをラジオにしたときだけ、オートアンテナがのびます。設定をONにすると、ソースをテレビにしたときも、オートアンテナがのびるようになります。

ラジオとテレビでオートアンテナを共用するときは、設定をONにしてください。

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマーの設定

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。このディマーの設定は、OFFにすることができます。



1 ディマーモードにする (P. 90ページ)

2 ディマーの設定をOFFにする

▼ ボタンを押す (▲ ボタンでON)

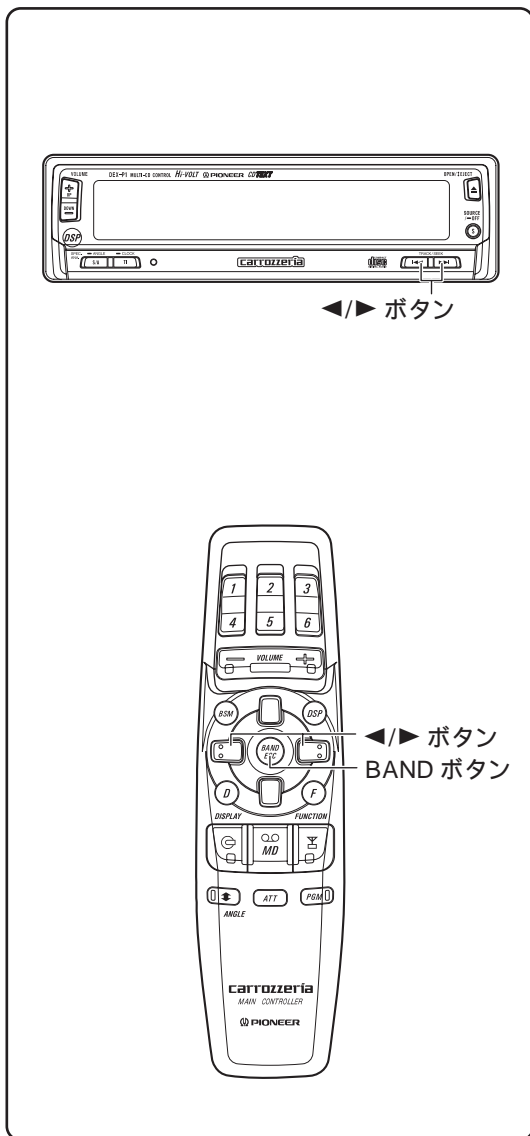
```
+ ON Setup
+ OFF Dimmer :On
```

BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

音の歪みを補正する

センス切り換え

イコライザーカーブの設定による音の歪みをなくすることができます。



1 センス切り換え
モードにする (P.90 ページ)

2 センスを
選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

```
+ + Setup  
SEL Sense : Hi
```

BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

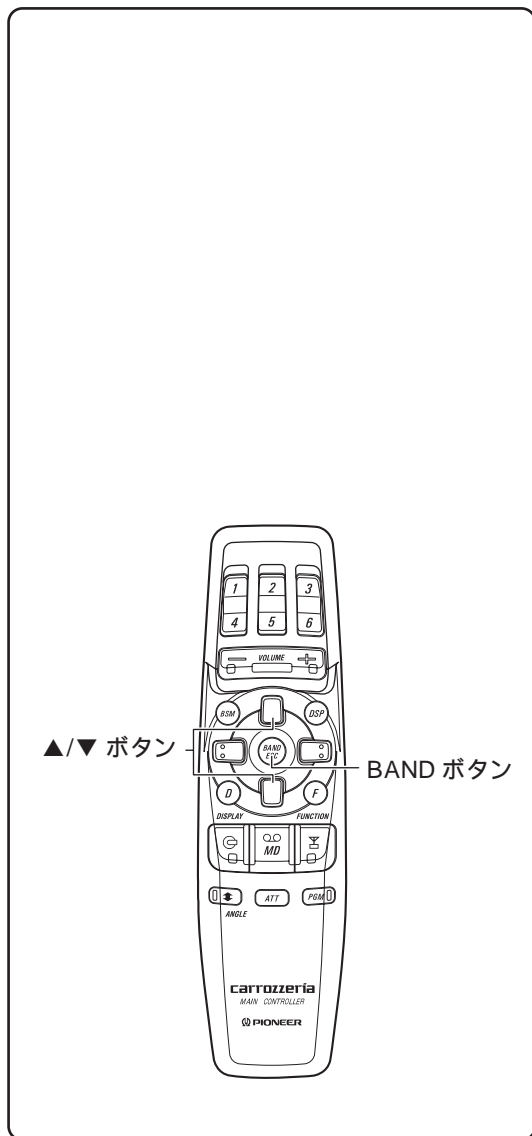
センスの設定について

イコライザーカーブの設定でレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときには、センスの設定を Low に切り換えてください。

エンターテインメント表示をさせる

エンターテインメント表示

ディスクタイトルを入力していなかったり、ラジオの放送局名記憶をさせていない場合、その代わりにエンターテインメント表示をさせることができます。



1

エンターテインメント表示モードにする (P.90 ページ)

2

エンターテインメント表示をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)

```
+ DM Setup
+ OFF DISP Filler:On
```

BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

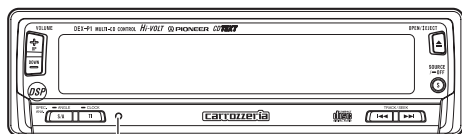
エンターテインメント表示

```
⊙ S-CD [♪♪♪♪♪♪♪♪]
Tr-1 00m02s
```


本機を初期状態に戻す

リセット

本機を初期状態に戻すことができます。



リセットボタン

リセットについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態 (ご購入直後の状態) に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

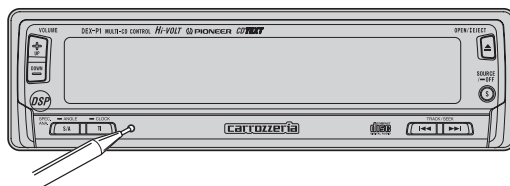
本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

リセットボタンを押すと、本体の記憶 (時計やラジオのプリセット、DSPのイコライザーカーブなど) が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

本機を リセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



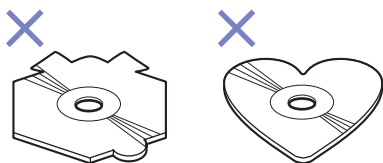
CDの正しい使いかた

使用できるCDについて

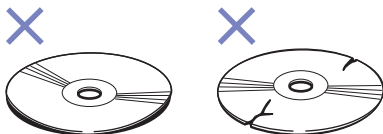
ディスクタイトル面に下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をお使いください。



特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となる事があります。

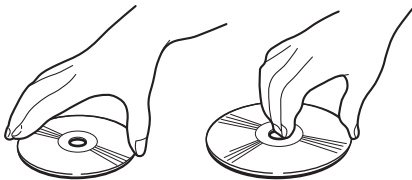


ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。



取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



CDにキズを付けないでください。
CDにシールなどを貼り付けしないでください。

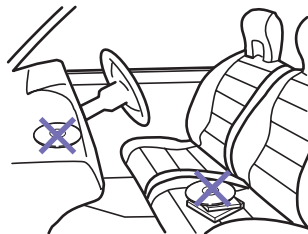


メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



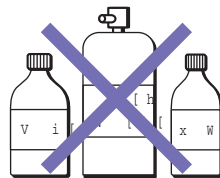
CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、CDの内側から外側へ軽くふいてください。



CDに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、CDには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。


寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのをお待ちください。CDに付いたつゆは、柔らかい布でふいてください。

こんなメッセージが表示されたら

CDのエラー表示

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 ( 98ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-14」	追記型CD (CD-R) を録音しないまま使用しているとき。	追記型CD (CD-R) は、録音してからお使いください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-14」 「ERROR-17」「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「HEAT」	本機の内部温度が高くなったとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。

メモ

マルチCD再生中に、上記以外のエラー番号が表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？ と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

チェックしても なおらないときは

本機をリセットしてください。(P.97ページ)

それでも なおらないときは

「保証書とアフターサービス」(P.次ページ)をお読みになり、修理を依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(P.取付説明書)
音が出ない。音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。(P.15、17、19ページ)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターをOFFにしてください。(P.87ページ)
前または後のスピーカーの音が出ない。音が小さい。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	前後の音量バランスを調節してください。(P.81ページ)
左または右のスピーカーの音が出ない。音が小さい。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	左右の音量バランスを調節してください。(P.81ページ)

CD/ラジオ

症 状	原 因	処 置
CDの再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。(P.98ページ)
	CDにくもりや水滴が付いている。	CDにくもりや水滴をふき取ってください。(P.98ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(P.14ページ)
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。(P.17ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。(P.17ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。(P.17ページ)

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター(I・C)をご利用ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

おもな仕様

CDプレーヤー部

形式	: コンパクトディスクオーディオシステム
使用ディスク	: コンパクトディスク
信号フォーマット	: サンプリング周波数: 44.1 kHz 量子化ビット数: 16ビット直線
周波数特性	: 5 ~ 20,000 Hz
S/N	: 120 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミックレンジ	: 98 dB (1 kHz)
チャンネル数	: 2 (ステレオ)

FM チューナー部

受信周波数帯域	: 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度	: 11 dBf (1.0 μ V/75、モノラル、S/N: 30 dB)
S/N 50 dB 感度	: 16 dBf (1.7 μ V/75、モノラル)
S/N	: 70 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率	: 0.3% (65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)
周波数特性	: 30 ~ 15,000 Hz (\pm 3 dB)
ステレオセパレーション	: 40 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域	: 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)
実用感度	: 18 μ V (S/N: 20 dB)
実効選択度	: 50 dB (\pm 9 kHz)

共通部

最大消費電流	: 4.0 A
使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
取付寸法	: 178 (W) \times 50 (H) \times 160 (D) mm
ノーズ寸法	: 170 (W) \times 46 (H) \times 15 (D) mm
重量	: 1.8 kg (コード含まず)

DSP 部

イコライザー (13 バンドグラフィック)

周波数:	50 Hz、80 Hz、 125 Hz、200 Hz、 315 Hz、500 Hz、 800 Hz、1.25 kHz、 2 kHz、3.15 kHz、 5 kHz、8 kHz、 12.5 kHz
調整幅:	\pm 12 dB (2 dB)

ネットワーク (スタンダードモード)

FRONT/REAR : H.P.F.周波数:	50 Hz、80 Hz、 125 Hz、200 Hz
スロープ:	0、-6、-12 dB/oct.
調整幅:	0 ~ -24 dB (1 dB)
SUBWOOFER : L.P.F.周波数:	50 Hz、63 Hz、 80 Hz、100 Hz、 125 Hz、160 Hz、 200 Hz
スロープ:	-6、-12、-18 dB/oct.
調整幅:	+6 ~ -24 dB (1 dB)
位相切換:	ノーマル/リバース

DSP部 (つづき)

ネットワーク (プロモード)

HIGH : H.P.F.周波数 :
2 kHz、2.5 kHz、
3.15 kHz、4 kHz、
5 kHz、6.3 kHz、
8 kHz、10 kHz
12.5 kHz

スロープ :
- 6、- 12、
- 18、- 24 dB/oct.

調整幅 :
+ 6 ~ - 24 dB (1 dB)

位相切換 :
ノーマル/リバース

MID : L.P.F.周波数 :
2 kHz、2.5 kHz、
3.15 kHz、4 kHz、
5 kHz、6.3 kHz、
8 kHz、10 kHz
12.5 kHz

H.P.F.周波数 :
40 Hz、50 Hz、
63 Hz、80 Hz、
100 Hz、125 Hz、
160 Hz、200 Hz
250 Hz

スロープ :
0、- 6、- 12、
- 18、- 24 dB/oct.

調整幅 :
0 ~ - 24 dB (1 dB)

位相切換 :
ノーマル/リバース

LOW : L.P.F.周波数 :
40 Hz、50 Hz、
63 Hz、80 Hz、
100 Hz、125 Hz、
160 Hz、200 Hz
250 Hz

スロープ :
- 12、- 18、- 24、
- 30、- 36 dB/oct.

調整幅 :
+ 6 ~ - 24 dB (1 dB)

位相切換 :
ノーマル/リバース

タイムアライメント :
0 ~ 400 cm (2 cm)
0 ~ 160 inch (0.5 inch)

付属品

メイン
コントローラー : 1
単4形
乾電池 (R03) : 2
コード類 : 1式
取付ネジ類 : 1式
取扱説明書 : 1
取付説明書 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
ご相談窓口・修理
窓口のご案内 : 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。



エコマーク認定の再生紙を使用しています。

< 98D00F0T00 >

© パイオニア株式会社 1998

< CRA2479-A >

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

お客様ご相談窓口 (修理に関しては別添『ご相談窓口・修理窓口のご案内』参照)

お客様相談センター TEL 03-3491-8181

技術相談窓口	札幌	TEL 011-644-4779	大阪	TEL 06-353-3705
	仙台	TEL 022-375-4417	広島	TEL 082-228-2239
	名古屋	TEL 052-532-1141	福岡	TEL 092-441-8076